

## 7. 水源地域動態

## 7. 水源地域動態

### 7.1 評価の進め方

#### 7.1.1 評価方針

水源地域動態の評価は大きく2つの流れの評価を行う。一つは、地域との関わりという点で、ダム建設から管理以降、現在までのダム事業を整理するとともに、地域情勢の変遷を整理し、地域においてダムがどのような役割を果たしてきたか、今後の位置づけはどのように考えていくべきか等についての評価を行う。

もう一つの流れとして、ダム周辺整備事業とダム及びダム周辺の利用状況から評価を行うものである。ダム周辺に整備された施設等が十分に利用されているものとなっているか、又は逆に利用状況から見た施設は十分なものとなっているか等の評価を行う。

最後にこれらをまとめ、ダム及びダム周辺の社会的な評価の総括を行い、課題等について検討する。

#### 7.1.2 評価手順

水源地域動態の検討手順を図 7.1.2-1 に示す。

評価方針のとおり大きく2つの流れにより評価を行いとりまとめることとする。

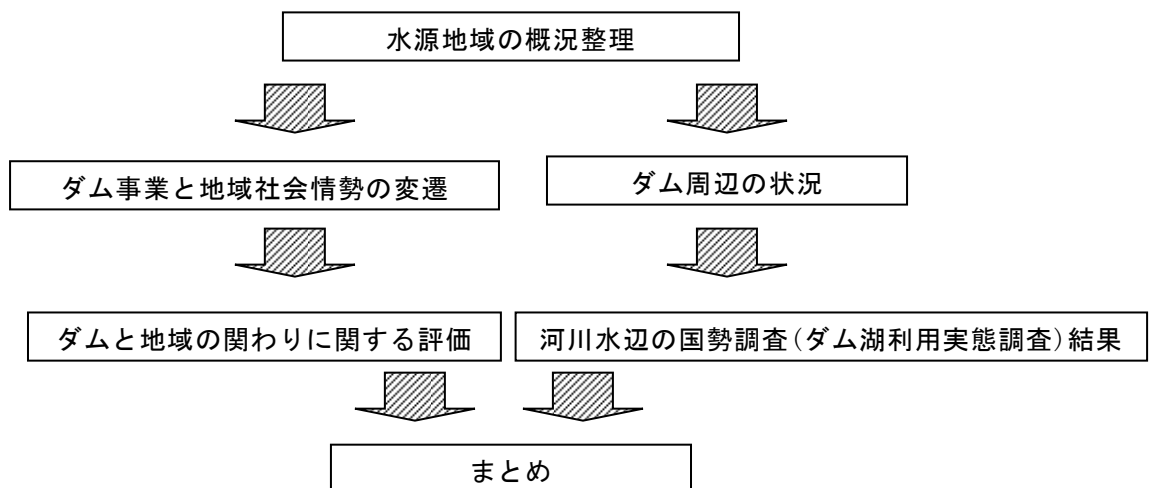


図 7.1.2-1 水源地域動態の検討手順

### (1) 水源地域の概況整理

水源地域の地勢や人口等の概要、交通条件や観光施設等のダムの立地特性等の視点から水源地域の概況を把握する。

### (2) ダム事業と地域社会の変遷

ダム建設が直接地域社会に与えたインパクト、周辺地域の社会情勢、地域の交流活動・イベント等についてダム事業の経緯とともに変遷を年表形式で整理し、ダム事業と地域社会の係わりを把握する。周辺地域の社会情勢、地域の交流活動・イベント等は、ダムの影響とまでは言えないまでも関連がありそうな事項を抽出する。これらのまとめにより、ダムを含めた水源地域としての地域特性を把握する。

### (3) ダムと地域の関わりに関する評価

ダムと地域との関わりとして、(2)をもとに、「地域に開かれたダム」や「水源地域ビジョン」等も参考にしながら、地域におけるダムの位置づけについて考察を行う。さらにダム管理者と地域の関わりとして、至近5ヶ年程度のダム管理者と地域の交流事項等について整理し、管理者の活動等について評価する。

### (4) ダム周辺の状況

ダムの周辺環境整備計画を整理するとともに、現況の整備状況等について整理を行い、加えて、「地域に開かれたダム」や「水源地域ビジョン」により新たに整備された施設等についても整理する。

なお、原則は、「水源地域対策特別措置法」で整備した施設等は評価対象としないが、ダム事業と一体となって整備した施設等は含めることとする。

また、施設入り込み数、イベント開催状況等から周辺の利用状況を整理し、利用に関する評価を行う。

### (5) 河川水辺の国勢調査（ダム湖利用実態調査）結果

河川水辺の国勢調査（ダム湖利用実態調査）結果より、ダム周辺施設の年間利用者数、利用形態等についても整理する。また、アンケート調査結果から、利用者がどのような感想をもっているかについても整理し、利用者の視点からのダム周辺施設（環境整備）の評価を行う。

### (6) その他関連事項の整理

水源地域の社会動態に関する既往検討資料、又は景観検討資料、施設の維持管理に関する検討資料等、関連する資料があれば整理する。

### (7) まとめ

以上より、地域とダムの関わり、ダムの利用状況に関する評価結果をまとめ、ダムの特徴、課題等について整理する。また、負の評価結果となった事項があれば、これらについて要因を整理し、極力改善策等の提案についてとりまとめるものとする。

## 7.2 水源地域の概況

### 7.2.1 水源地域の概要

#### (1) 自然

高山ダム流域は、高見山脈の連峰（標高 1,249m）に発する比奈知、青蓮寺及び宇陀の三川からなり、流域面積は 615km<sup>2</sup> である。

ダムサイトの河床標高は約 80m、谷幅は約 50m である。ダムサイト両岸の山腹斜面は、ほぼ等しく約 40 度の傾斜をなしている。ダム右岸には、標高 180m 付近から緩い起伏をもつ平坦な面が東方に広がっている。この平地面には、基盤の花崗岩を覆って第四紀洪積層（固結の進んだいわゆる山砂利層）が分布している。一方、ダム左岸は標高 200m 前後から緩斜面にはなるが、右岸ほど著しい平坦面の形成は見られない。

地質的には中央構造線の北方、つまり西南日本内帯に属し、いわゆる領家地帯に属する。また、高山ダム流域の気候は内陸性で、年間降水量は名張地点で平均 1,400mm 程度である。

#### (2) 市町村合併等による水源地域市町村の動態

市町村合併等の状況を表 7.2.1-1 に示す。

高山ダムの水源地域は、平成 16 年までは南山城村（京都府）、上野市（三重県）、名張市（三重県）等、12 市町村からなっていたが、市町村合併により 5 市 4 村（平成 26 年 3 月 31 日現在）となっている。

表 7.2.1-1 市町村合併等の状況

府県名	旧市町村名	新市町村名	備考
京都府	南山城村	南山城村	H26.3.31 現在変更なし
三重県	上野市	伊賀市	H16.11.1 上野市を含む 6 市町村が合併新設
	名張市	名張市	H26.3.31 現在変更なし
	美杉村	津市	H18.1.1 美杉村を含む 10 市町村が合併新設
奈良県	月ヶ瀬村	奈良市	H17.4.1 月ヶ瀬村、都祁村、奈良市が合併
	山添村	山添村	H26.3.31 現在変更なし
	大宇陀町	宇陀市	H18.1.1 左記 4 町村が合併新設
	菟田野町		
	榛原町		
	室生村		
	曾爾村	曾爾村	H26.3.31 現在変更なし
御杖村	御杖村	H26.3.31 現在変更なし	

(3) 水源地域の人口動態

① 高山ダム水源地域市町村の人口推移

高山ダム水源地域の旧 12 市村のこれまでの人口推移を表 7.2.1-2 及び図 7.2.1-1 にそれぞれ示す。

高山ダム流域は3府県（京都府1村、奈良県3町5村、三重県2市1村）にまたがっており、流域内人口は、平成12年まで増加傾向にあったが、平成12年以降は減少傾向となっている。

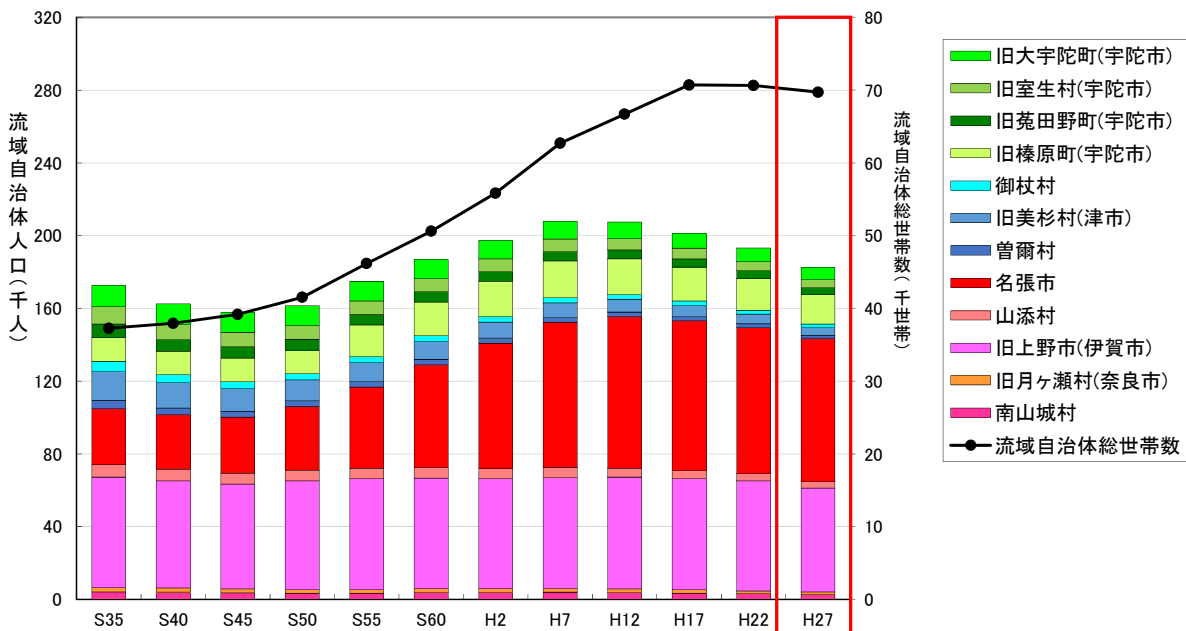
平成12年までの人口増加は、昭和50年代頃から大阪都市圏のベッドタウンとして急速に成長した名張市の影響によるものである。その他の市町村の人口は、減少又は横ばい傾向にある。

表 7.2.1-2 高山ダム水源地域市町村の人口推移

高山ダム水源地域人口(人)		S35	S40	S45	S50	S55	S60	H2	H7	H12	H17	H22	H27	
京都府	南山城村	4,050	3,978	3,570	3,388	3,396	3,701	3,890	4,024	3,784	3,466	3,078	2,652	
三重県	旧上野市(伊賀市)	60,725	58,915	57,666	59,716	60,835	60,812	60,242	60,986	61,493	61,121	60,541	58,341	
	名張市	30,904	30,084	30,862	34,929	44,488	56,474	68,933	79,913	83,291	82,156	80,284	78,795	
	旧美杉村(津市)	16,043	14,103	12,470	11,408	10,495	9,630	8,835	8,015	7,158	6,392	5,381	4,495	
奈良県	旧月ヶ瀬村(奈良市)	2,483	2,355	2,142	2,132	2,110	2,136	2,084	2,015	1,962	1,809	1,607	1,607	
	山添村	6,807	6,416	5,978	5,885	5,822	5,933	5,773	5,420	4,967	4,595	4,107	3,674	
	旧大宇陀町(宇陀市)	11,584	11,221	10,930	10,829	10,638	10,541	10,032	9,712	9,104	8,225	7,361	7,361	
	旧菟田野町(宇陀市)	7,330	6,392	6,344	6,032	5,849	5,683	5,477	5,284	4,914	4,623	4,250	4,250	
	旧榛原町(宇陀市)	13,093	12,873	12,950	12,846	17,210	18,512	19,358	20,230	19,438	18,549	17,491	17,491	
	旧室生村(宇陀市)	9,721	8,426	7,739	7,562	7,404	7,138	6,869	6,809	6,306	5,786	5,125	5,125	
	曾爾村	4,433	3,512	3,189	3,144	3,083	2,975	2,743	2,645	2,472	2,193	1,895	1,549	
	御杖村	5,533	4,159	3,852	3,593	3,430	3,287	3,035	2,840	2,623	2,366	2,102	1,759	
	計		172,706	162,434	157,692	161,464	174,760	186,822	197,271	207,893	207,512	201,281	193,222	187,099

※1：上記人口は、流域人口でなく流域に含まれる市町村の各自自治体の総人口である。

(出典：国勢調査)



※1：上記人口は、流域人口でなく流域に含まれる市町村の各自自治体の総人口である。

(出典：国勢調査)

図 7.2.1-1 高山ダム水源地域市町村の人口推移

② 高山ダム流域内の人口推移

高山ダム流域旧12市村の面積及び流域面積を表 7.2.1-3 に、面積比率を図 7.2.1-2 にそれぞれ示す。

表 7.2.1-3 高山ダム流域町村の面積及び流域面積

市町村等名	行政区面積 (km <sup>2</sup> )	流域内面積 (km <sup>2</sup> )	面積比	高山ダム流域面積(615km <sup>2</sup> )に対する市町村面積の割合	
京都府	南山城村	64.21	18.17	0.283	2.95%
三重県	旧上野市(伊賀市)	195.26	23.87	0.122	3.88%
	名張市	129.76	125.42	0.967	20.39%
	旧美杉村(津市)	206.7	20.4	0.099	3.32%
奈良県	旧月ヶ瀬村(奈良市)	21.35	18.63	0.873	3.03%
	山添村	66.47	53.36	0.803	8.68%
	旧大宇陀町(宇陀市)	47.44	37.67	0.794	6.13%
	旧菟田野町(宇陀市)	27.78	27.77	1.000	4.52%
	旧榛原町(宇陀市)	64.41	61.57	0.956	10.01%
	旧室生村(宇陀市)	107.99	104.69	0.969	17.02%
	曾爾村	47.84	47.84	1.000	7.78%
	御杖村	79.63	75.61	0.950	12.29%
合計	1058.84	615.00	—	100%	

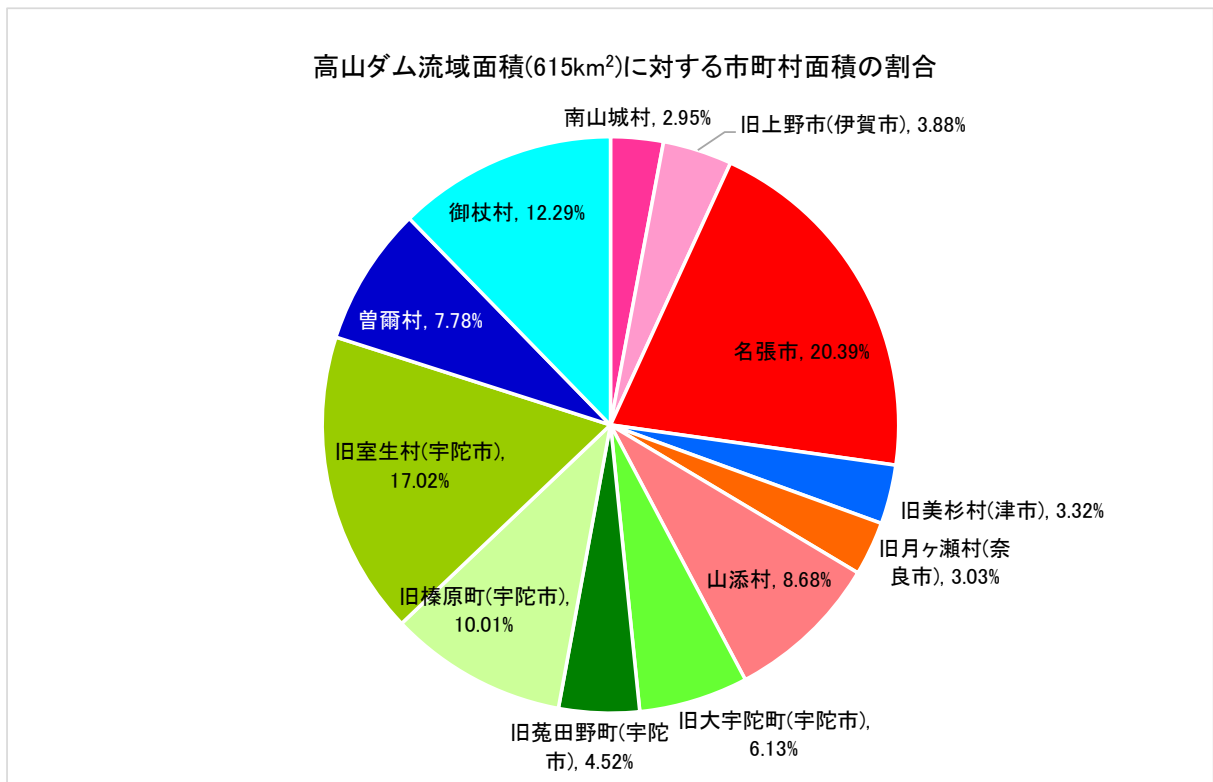


図 7.2.1-2 高山ダム流域内市町村の面積割合

高山ダムの流域面積比により算出した旧 12 市村の流域内人口動態を表 7.2.1-4 及び図 7.2.1-3 にそれぞれ示す。

流域内人口は平成 7 年、12 年には 13 万人を超えていたが、以降減少傾向となり、平成 27 年時点で 12 万 6 千人余りとなっている。

ダムが位置する京都府の南山城村はダム流域内は約 28%であり、流域外の割合が高い。同様に三重県の旧上野市や旧美杉村も流域外の割合が高いが、その他の自治体は大部分が高山ダム流域内となり、特に名張市は流域内が約 97%となっており、流域内人口の 6 割以上を占めている。また、室生ダムの流域を含む宇陀市（旧大宇陀町、旧菟田野町、旧榛原町、旧室生村）もほとんどが高山ダム流域内であり、名張市と宇陀市で流域内人口の約 9 割を占めている。

表 7.2.1-4 高山ダム流域内人口の推移

高山ダム流域内人口(人)		S35	S40	S45	S50	S55	S60	H2	H7	H12	H17	H22	H27
京都府	南山城村	1,146	1,126	1,010	959	961	1,047	1,101	1,139	1,071	981	871	750
三重県	旧上野市(伊賀市)	7,423	7,202	7,050	7,300	7,437	7,434	7,364	7,455	7,517	7,472	7,401	6,977
	名張市	29,870	29,078	29,830	33,761	43,000	54,585	66,627	77,240	80,505	79,408	77,599	76,160
	旧美杉村(津市)	1,583	1,392	1,231	1,126	1,036	950	872	791	706	631	531	444
奈良県	旧月ヶ瀬村(奈良市)	2,167	2,055	1,869	1,860	1,841	1,864	1,818	1,758	1,712	1,579	1,402	1,270
	山添村	5,464	5,151	4,799	4,724	4,674	4,763	4,634	4,351	3,987	3,689	3,297	2,949
	旧大宇陀町(宇陀市)	9,198	8,910	8,679	8,599	8,447	8,370	7,966	7,712	7,229	6,531	5,845	5,253
	旧菟田野町(宇陀市)	7,327	6,390	6,342	6,030	5,847	5,681	5,475	5,282	4,912	4,621	4,248	3,772
	旧榛原町(宇陀市)	12,516	12,305	12,379	12,280	16,451	17,696	18,504	19,338	18,581	17,731	16,720	15,512
	旧室生村(宇陀市)	9,424	8,169	7,503	7,331	7,178	6,920	6,659	6,601	6,113	5,609	4,968	4,351
	曾爾村	4,433	3,512	3,189	3,144	3,083	2,975	2,743	2,645	2,472	2,193	1,895	1,549
	御杖村	5,254	3,949	3,658	3,412	3,257	3,121	2,882	2,697	2,491	2,247	1,996	1,670
計		95,806	89,238	87,537	90,525	103,211	115,406	126,647	137,009	137,297	132,691	126,774	120,658

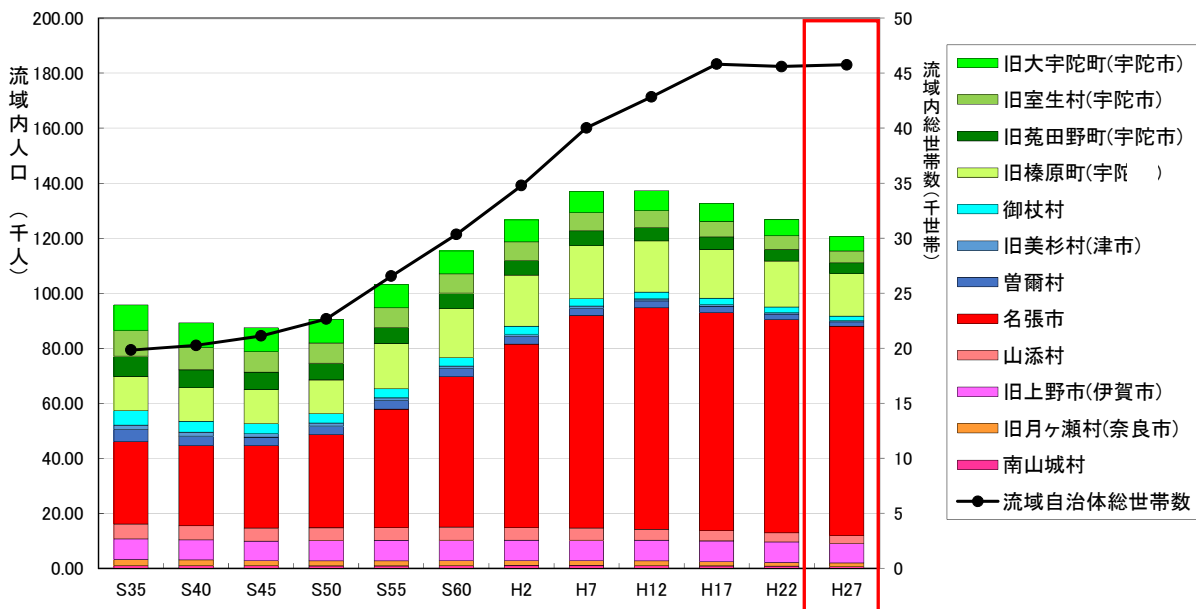


図 7.2.1-3 高山ダム流域内人口の推移

## (4) 産業別就業者数

流域市町村の産業別就業者数の推移を表 7.2.1-5 及び図 7.2.1-4 に示す。

市町村合併により平成 17 年以降のデータが未整備である市町村が多いが、人口の減少に合わせて、おおむね全産業で就業者数の減少傾向となっている。特に第一次産業の減少は顕著である。

なお、産業別就業者数は 5 年に 1 回の実施となっている。

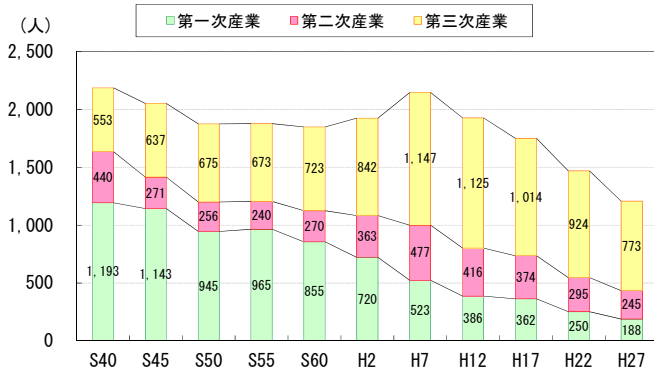
表 7.2.1-5 流域市町村の産業別就業者数の推移

府県名	市町村名	(人)	S40	S45	S50	S55	S60	H2	H7	H12	H17	H22	H27
京都府	南山城村	第1次産業	1,193	1,143	945	965	855	720	523	386	362	250	188
		第2次産業	440	271	256	240	270	363	477	416	374	295	245
		第3次産業	553	637	675	673	723	842	1,147	1,125	1,014	924	773
三重県	旧上野市 (伊賀市)	第1次産業	10,056	8,579	5,890	4,511	3,473	2,602	2,357	1,671	1,768	1,140	1,308
		第2次産業	8,753	10,135	10,242	10,732	11,583	12,953	13,351	13,111	12,116	10,626	11,002
		第3次産業	16,458	13,584	14,476	15,261	15,336	15,246	16,209	16,237	16,454	15,075	14,994
	名張市	第1次産業	5,462	4,518	2,976	2,267	1,877	1,482	1,366	1,103	1,114	793	901
		第2次産業	3,602	4,777	5,637	7,332	9,857	12,158	13,884	14,112	13,148	12,156	12,101
		第3次産業	7,446	7,048	8,178	10,581	13,694	17,616	22,372	24,572	24,829	23,745	23,443
	旧美杉村 (津市)	第1次産業	3,551	2,742	1,866	1,217	1,061	710	643	406	371	155	133
		第2次産業	1,416	2,002	1,941	2,149	2,071	1,994	1,591	1,315	996	696	553
		第3次産業	1,220	1,772	1,916	1,896	1,869	1,867	1,832	1,690	1,532	1,257	1,083
奈良県	旧月ヶ瀬村 (奈良市)	第1次産業	916	769	595	516	459	389	351	323	302	244	202
		第2次産業	155	201	180	286	279	303	314	262	214	188	172
		第3次産業	249	273	340	383	422	417	422	447	435	378	346
	山添村	第1次産業	2,815	2,355	1,885	1,456	1,254	959	752	453	498	419	382
		第2次産業	499	559	685	748	811	878	852	760	664	602	513
		第3次産業	565	731	780	996	1,112	1,155	1,256	1,204	1,237	1,080	972
	宇陀市	第1次産業 (7,935)	(7,018)	(4,875)	(3,793)	(3,140)	(2,404)	(2,137)	(1,776)	(1,732)	(1,086)	(1,204)	
		第2次産業 (4,246)	(5,343)	(5,130)	(5,685)	(5,703)	(5,903)	(5,854)	(5,271)	(4,248)	(3,376)	(3,057)	
		第3次産業 (6,575)	(7,409)	(7,930)	(9,821)	(10,226)	(10,620)	(11,697)	(11,231)	(11,038)	(9,923)	(9,230)	
	旧大宇陀町 (宇陀市)	第1次産業	2,292	1,970	1,570	1,149	928	682	623	526	540	304	331
		第2次産業	1,198	1,599	1,505	1,542	1,551	1,603	1,553	1,395	1,070	822	764
		第3次産業	1,798	1,998	2,040	2,377	2,351	2,388	2,408	2,272	2,243	2,029	1,834
	旧菟田野町 (宇陀市)	第1次産業	1,183	1,019	720	510	447	390	301	233	232	138	177
		第2次産業	815	1,115	1,065	1,067	1,046	1,011	925	815	611	536	433
		第3次産業	969	1,134	1,240	1,330	1,274	1,224	1,205	1,205	1,259	1,125	1,051
	旧榛原町 (宇陀市)	第1次産業	2,275	2,062	1,200	1,177	956	764	681	671	591	402	449
		第2次産業	1,468	1,727	1,685	2,173	2,279	2,423	2,500	2,247	1,865	1,507	1,414
		第3次産業	2,458	2,843	2,840	4,256	4,782	5,258	6,195	6,056	5,985	5,418	5,092
	旧室生村 (宇陀市)	第1次産業	2,185	1,967	1,385	957	809	568	532	346	369	242	247
		第2次産業	765	902	875	903	827	866	876	814	702	511	446
		第3次産業	1,350	1,434	1,810	1,858	1,819	1,750	1,889	1,698	1,551	1,351	1,253
曾爾村	第1次産業	944	877	535	431	386	265	279	228	185	152	140	
	第2次産業	385	439	425	529	536	481	446	335	275	212	160	
	第3次産業	415	420	505	539	608	555	568	577	573	505	439	
御杖村	第1次産業	1,148	1,013	700	427	365	302	296	226	234	142	176	
	第2次産業	323	506	650	709	676	674	539	455	308	217	187	
	第3次産業	451	451	430	550	524	514	513	494	498	465	446	

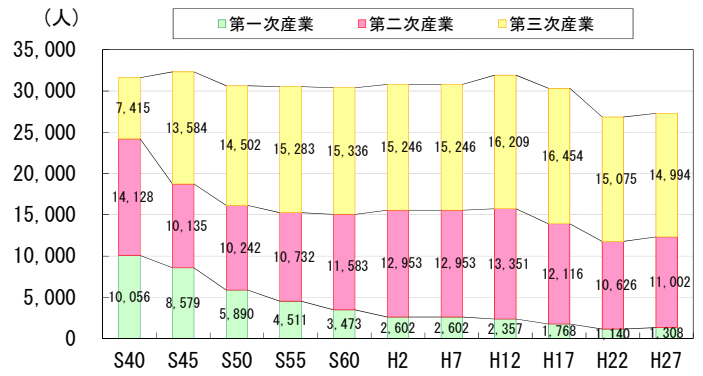
※「-」は、合併などにより旧自治体区分での就業者数が公表されていないことを示す。



南山城村(京都府)

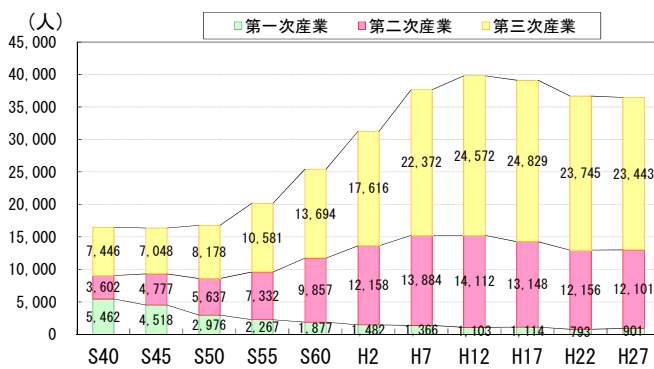


旧上野市(三重県)

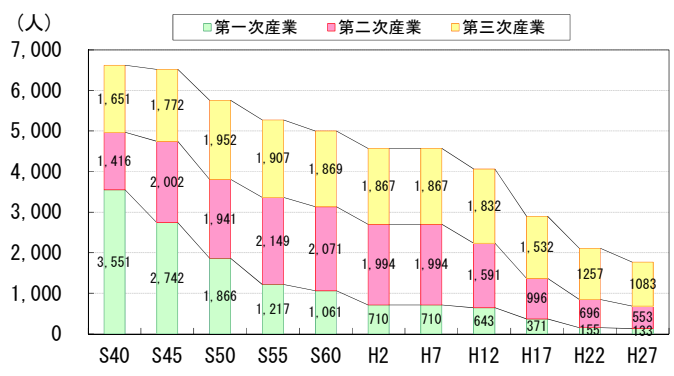


※ ※ ※  
 ※H16. 11. 1 上野市を含む 6 市町村が合併、「伊賀市」新設

名張市(三重県)

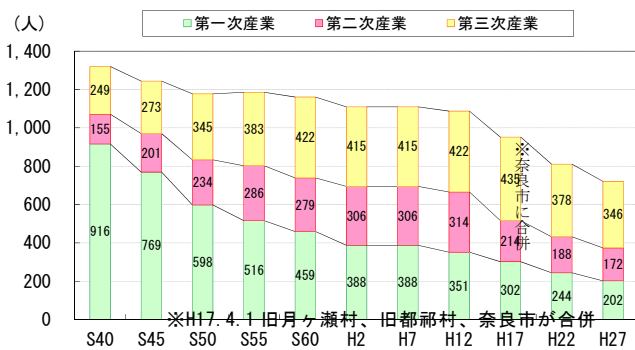


美杉村(三重県)



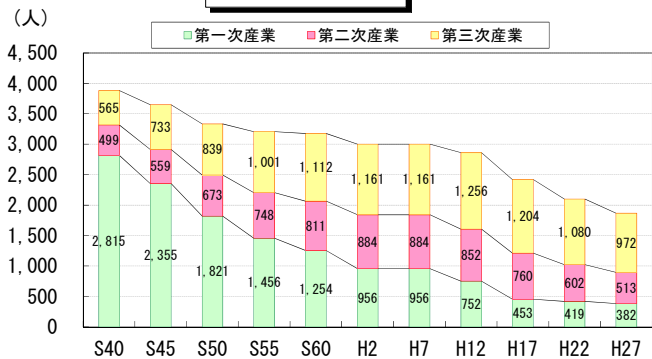
※ ※  
 ※H18. 1. 1 美杉村を含む 10 市町村が合併、「津市」新設

旧月ヶ瀬村(奈良県)



※H17. 4. 1 旧月ヶ瀬村、旧都祁村、奈良市が合併

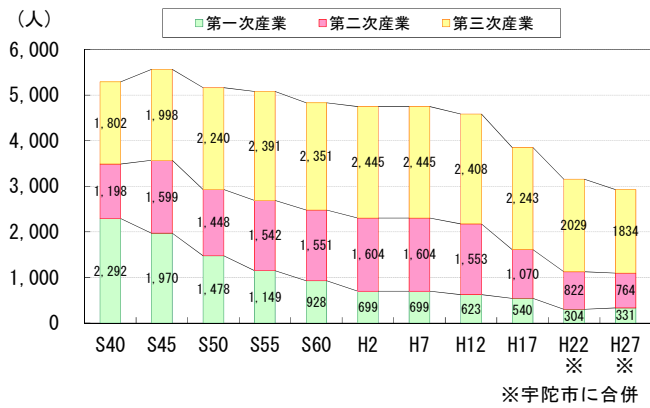
山添村(奈良県)



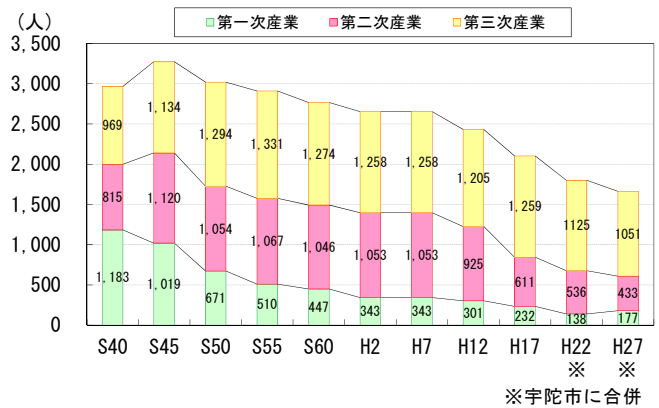
出典：国勢調査

図 7. 2. 1-4(1) 高山ダム流域市町村の産業就業者人口の推移

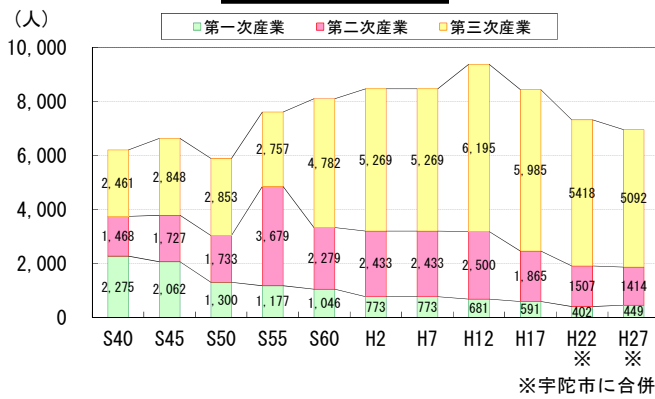
旧大宇陀町(奈良県)



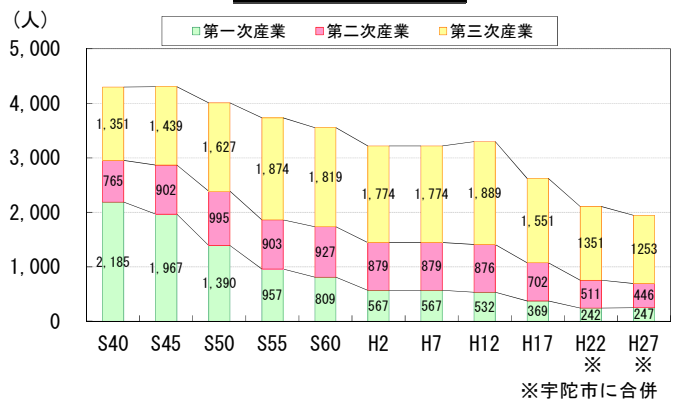
旧菟田野町(奈良県)



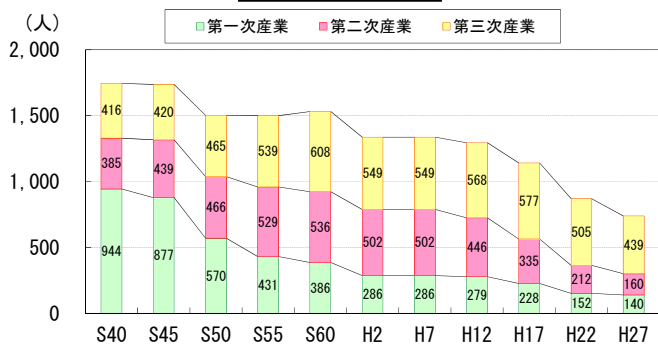
旧榛原町(奈良県)



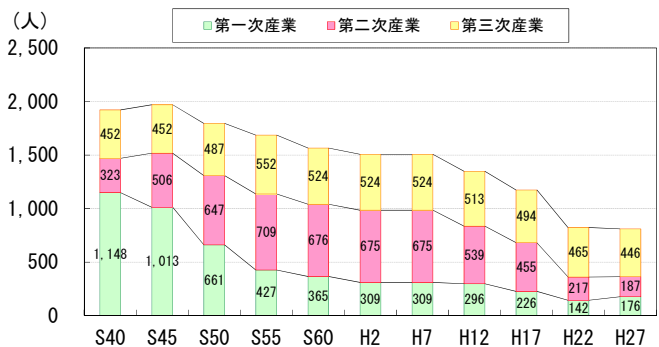
旧室生村(奈良県)



曾爾村(奈良県)



御杖村



出典：国勢調査

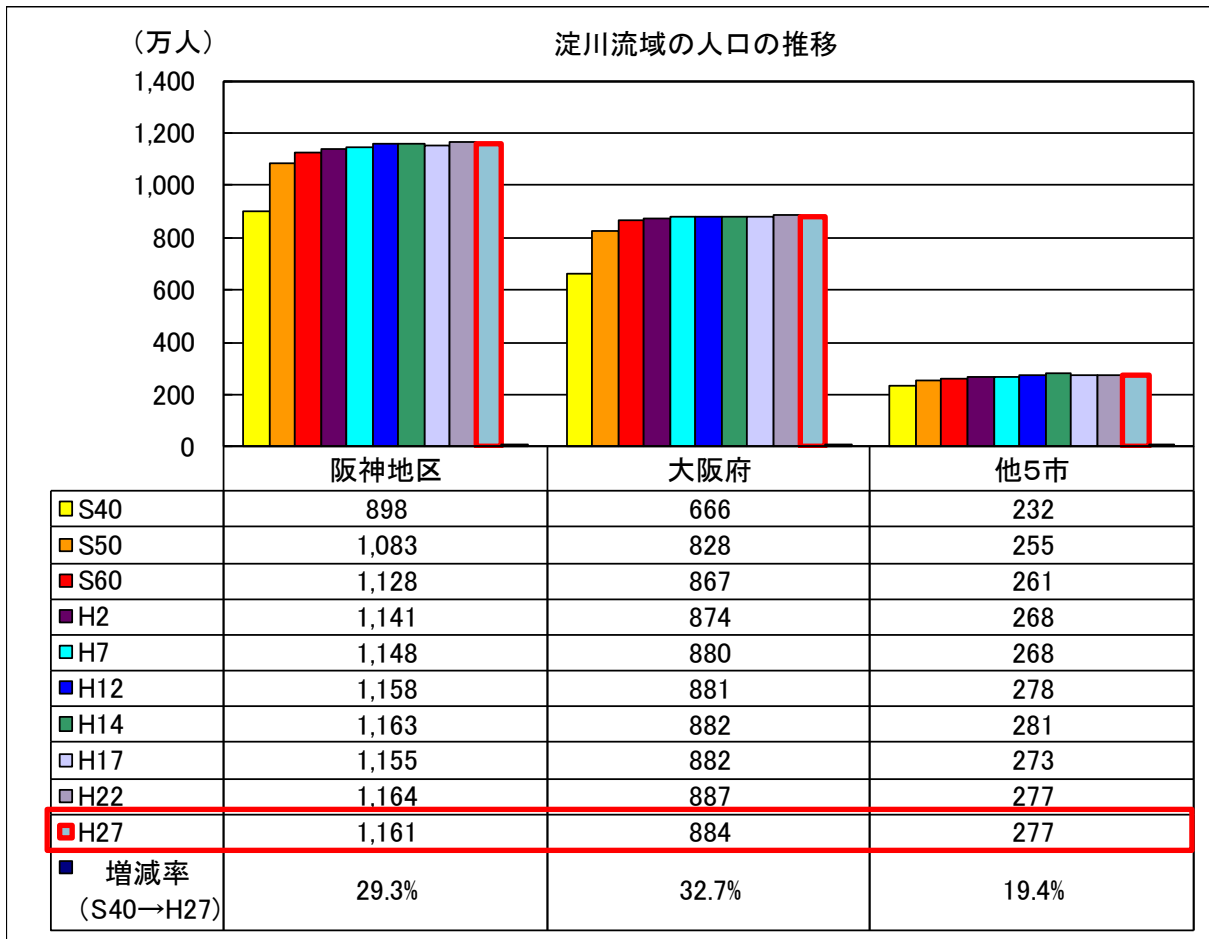
図 7.2.1-4(2) 高山ダム流域市町村の産業就業者人口の推移

(5) 淀川下流域の人口の推移

淀川下流域の人口の推移を図 7.2.1-5 に示す。

淀川下流域の人口は、昭和 40 年から昭和 50 年までの 10 年間で約 185 万人の増加があり、平成 2 年以降はほぼ横ばいの状態となっている。

淀川下流域（阪神地区）の平成 27 年時点の人口は、1,161 万人となっており、昭和 40 年と比較して、129.3%の増減率となっている。



※他 5 市：淀川下流域の兵庫県に位置する神戸市、尼崎市、伊丹市、西宮市、芦屋市

出典：国勢調査

図 7.2.1-5 淀川下流域の人口の推移

## (6) 土地利用

高山ダム流域市町村の土地利用面積の推移を表 7.2.1-6 に、高山ダム流域内の土地利用状況を図 7.2.1-6 にそれぞれ示す。

高山ダム流域内の土地利用割合は、森林 78.0%、田 8.1%、建物用地 5.5%、その他の農用地 3.9%、河川及び湖沼 1.4%などとなっている。

また、高山ダム建設以降、流域内での大規模な開発について、目立ったものは行われていない。

高山ダム水源地域では、名張市や伊賀市旧上野市地区を除いて、南山城村、奈良市旧月ヶ瀬村地区、山添村で約 80%が山林で占められ地形も急峻で平地は少ない。

南山城村、奈良市旧月ヶ瀬村地区、山添村に共通する産物として、茶やシイタケがある。茶は地質・気候に恵まれていることもあって、良質煎茶の生産地として知られており、シイタケ栽培は山林に恵まれていることもあり、近年生産量が増加している。

伊賀市旧上野市地区では昔からの水稲に加え、最近ではイチゴ等のハウス栽培やブドウ等の果樹園芸が行われている。

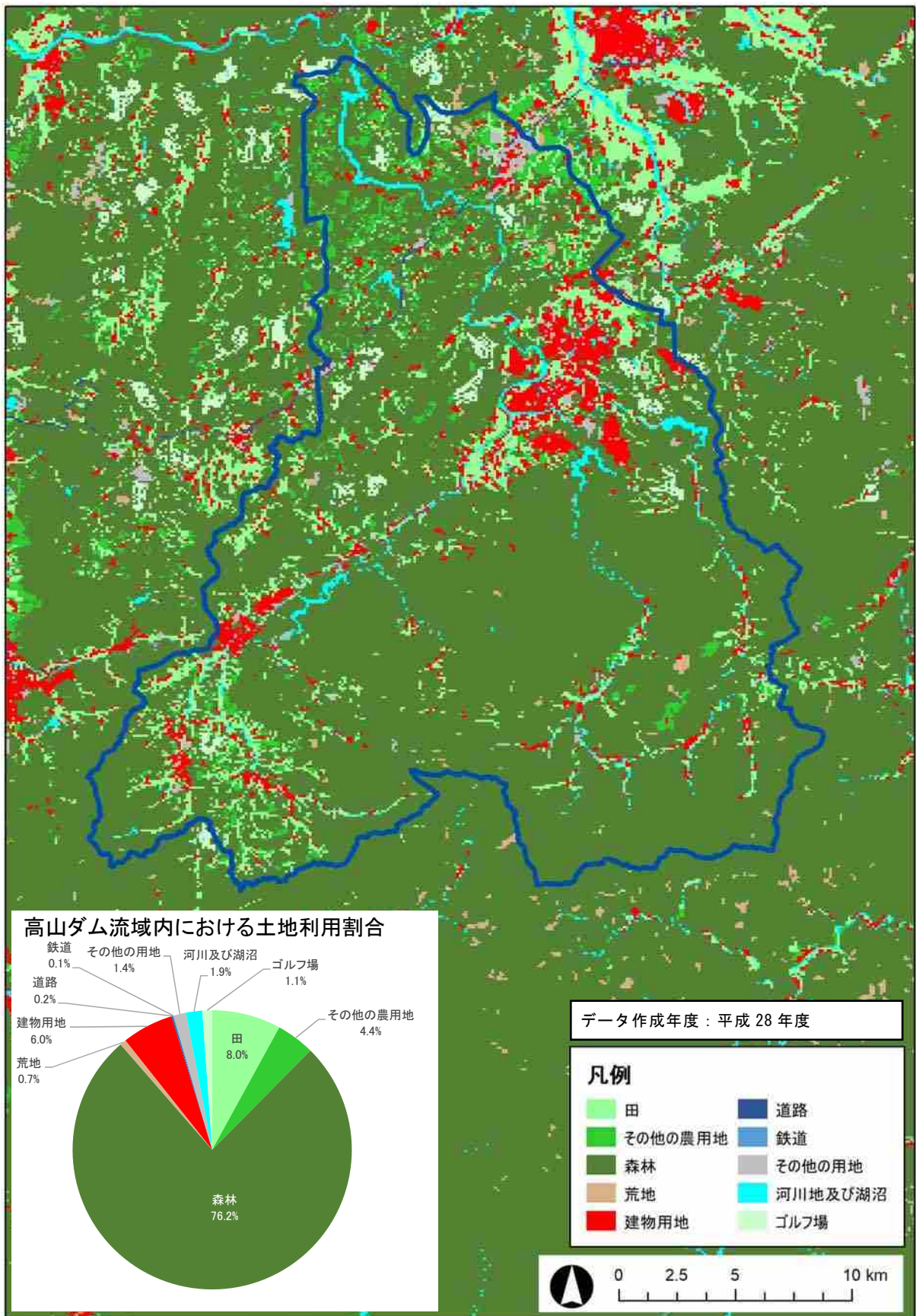
また、伝統産業として月ヶ瀬村では奈良晒製織、伊賀市旧上野市地区では伝統工芸品に指定されている伊賀組紐、良質土で焼かれた伊賀焼、士族の内職から発達した伊賀傘等の生産が行われている。

表 7.2.1-6 高山ダム流域市町村の土地利用面積の推移

府県名	市町村名	項目/年	昭和40年	昭和45年	昭和50年	昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	
京都府	南山城村	田	2.48	2.46	2.36	2.31	1.86	2.20	2.15	2.09	2.06	2.39	2.37	
		畑	1.44	1.44	1.38	1.44	1.35	1.64	1.62	1.59	1.54	1.87	1.82	
		宅地	0.27	0.28	0.32	0.46	0.39	0.51	0.52	0.50	0.51	0.61	0.62	
		山林	13.80	13.81	13.85	13.68	10.16	12.58	12.39	12.47	12.49	14.77	14.76	
		その他	0.18	0.18	0.26	0.28	4.41	1.24	1.48	1.51	1.58	-	-	
三重県	旧上野市 (伊賀市)	田	7.96	8.61	8.27	7.82	7.41	7.21	6.98	6.90	6.90	-	-	
		畑	4.49	2.15	1.92	2.04	2.51	2.40	2.33	2.07	2.07	-	-	
		宅地	2.01	1.09	1.28	2.00	2.10	2.34	2.76	3.45	3.45	-	-	
		山林	3.01	11.13	11.45	10.90	10.67	10.55	10.44	9.89	9.89	-	-	
		その他	6.40	0.90	0.95	1.11	1.17	1.36	1.37	1.57	1.57	-	-	
	名張市	田	32.57	32.33	29.97	27.69	25.72	25.52	24.09	23.33	23.05	11.92	11.72	
		畑	11.32	11.14	10.29	9.86	9.47	9.57	8.72	8.44	8.29	4.41	4.33	
		宅地	3.94	4.78	10.08	14.79	17.70	20.25	21.21	22.26	22.38	12.22	12.43	
		山林	73.18	72.23	70.06	67.18	66.28	64.01	65.53	63.92	64.06	34.46	33.51	
		その他	4.42	4.94	5.02	5.89	6.25	6.07	5.87	7.47	7.64	-	-	
	旧美杉村 (津市)	田	1.47	1.47	1.25	1.19	1.20	1.15	1.14	1.10	1.10	-	-	
		畑	1.03	1.27	1.10	1.07	1.09	1.06	1.05	1.00	1.00	-	-	
		宅地	0.27	0.28	0.27	0.28	0.30	0.31	0.33	0.34	0.34	-	-	
		山林	16.89	16.88	17.41	17.50	17.40	17.29	17.20	17.27	17.27	-	-	
		その他	0.75	0.50	0.37	0.36	0.41	0.59	0.68	0.69	0.69	-	-	
	旧月ヶ瀬村 (奈良市)	田	3.03	3.15	3.25	2.71	2.59	2.44	2.42	1.35	1.29	-	-	
		畑	0.28	2.80	2.80	2.40	2.37	2.95	3.01	3.47	3.50	-	-	
		宅地	0.32	0.39	0.53	0.53	0.47	0.47	0.48	0.52	0.52	-	-	
		山林	12.39	12.21	11.91	12.22	12.14	11.51	10.94	11.14	11.08	-	-	
		その他	2.61	0.07	0.14	0.77	1.06	1.26	1.78	2.16	2.24	-	-	
	山添村	田	9.36	8.91	9.32	9.64	9.30	9.10	8.44	7.99	7.86	4.64	4.41	
		畑	7.58	7.26	7.75	7.40	7.19	7.29	7.17	7.43	7.50	4.51	4.37	
		宅地	0.99	1.04	1.23	1.16	1.16	1.20	1.27	1.43	1.53	1.00	1.04	
		山林	35.43	36.14	34.78	33.50	33.04	31.75	32.32	32.08	32.16	19.98	20.37	
		その他	0.00	0.02	0.29	1.66	2.66	4.02	4.17	4.43	4.31	-	-	
	奈良県	宇陀市	田	(21.53)	(22.19)	(19.29)	(20.86)	(20.27)	(19.65)	(19.06)	(18.28)	(17.70)	17.47	17.20
			畑	(9.48)	(10.12)	(8.48)	(9.34)	(9.00)	(9.02)	(8.93)	(9.14)	(9.22)	9.08	8.97
宅地			(2.35)	(2.79)	(3.19)	(3.96)	(4.09)	(4.39)	(4.66)	(4.81)	(4.95)	5.04	5.11	
山林			(81.20)	(92.72)	(87.97)	(95.98)	(95.94)	(95.64)	(94.89)	(94.09)	(93.72)	94.09	94.32	
その他			(114.13)	(127.35)	(117.19)	(127.62)	(126.57)	(126.10)	(124.75)	(122.84)	(122.03)	-	-	
旧大宇陀町 (宇陀市)		田	6.75	6.86	6.32	6.54	6.49	6.41	6.30	6.02	5.91	-	-	
		畑	3.25	3.42	2.98	3.10	3.09	3.05	3.17	3.23	3.25	-	-	
		宅地	0.74	0.83	0.86	1.00	1.03	1.09	1.15	1.17	1.18	-	-	
		山林	14.78	16.67	15.52	16.80	16.87	16.86	16.90	16.44	16.45	-	-	
		その他	25.50	27.76	25.65	27.14	27.16	27.06	27.14	25.94	25.89	-	-	
旧菟田野町 (宇陀市)		田	3.09	3.12	2.48	2.94	2.86	2.69	2.63	2.48	2.37	-	-	
		畑	1.56	1.62	1.26	1.50	1.47	1.54	1.53	1.55	1.52	-	-	
		宅地	0.35	0.44	0.45	0.59	0.61	0.64	0.66	0.69	0.69	-	-	
		山林	10.63	11.99	11.29	12.71	12.66	12.37	12.40	12.10	12.01	-	-	
		その他	15.51	17.03	15.44	17.63	17.50	17.13	17.11	16.67	16.43	-	-	
旧榛原町 (宇陀市)		田	6.95	7.17	5.66	6.30	5.95	5.75	5.49	5.22	5.03	-	-	
		畑	2.52	2.79	2.21	2.53	2.28	2.32	2.16	2.28	2.32	-	-	
		宅地	0.75	0.91	1.26	1.65	1.70	1.89	2.00	2.08	2.18	-	-	
		山林	22.66	26.90	24.49	25.53	25.60	25.55	25.00	24.98	25.10	-	-	
		その他	32.76	37.64	33.05	35.47	34.93	34.98	34.03	33.83	33.87	-	-	
旧室生村 (宇陀市)		田	4.74	5.04	4.84	5.08	4.96	4.81	4.64	4.57	4.39	-	-	
		畑	2.15	2.29	2.03	2.21	2.16	2.11	2.07	2.08	2.12	-	-	
		宅地	0.52	0.61	0.61	0.73	0.75	0.78	0.85	0.88	0.89	-	-	
		山林	33.13	37.16	36.68	40.96	40.81	40.87	40.58	40.57	40.15	-	-	
		その他	40.37	44.93	43.06	47.39	46.99	46.94	46.46	46.41	45.83	-	-	
曽爾村		田	5.99	5.68	3.79	2.56	2.32	2.27	2.21	2.14	1.92	1.31	1.31	
		畑	4.64	4.50	2.98	2.08	1.85	1.81	1.72	1.68	1.39	0.95	0.95	
		宅地	0.75	0.95	0.73	0.54	0.46	0.47	0.47	0.48	0.55	0.39	0.39	
		山林	35.14	35.14	39.37	42.02	42.63	42.68	42.81	42.93	42.22	29.41	29.45	
	その他	1.32	1.58	0.98	0.64	0.58	0.61	0.62	0.61	1.75	-	-		
御杖村	田	7.26	5.62	4.34	5.22	5.03	5.04	5.32	5.21	5.15	2.23	2.21		
	畑	4.01	3.34	2.48	3.12	3.07	2.93	2.78	2.75	2.69	1.15	1.14		
	宅地	0.66	0.68	0.96	1.23	1.23	1.25	1.28	1.35	1.38	0.65	0.65		
	山林	63.10	65.25	67.79	65.98	64.46	64.59	64.40	64.46	64.56	28.36	28.40		
	その他	0.58	0.72	0.04	0.06	1.82	1.81	1.82	1.84	1.83	-	-		

出典：総務省「固定資産の価格等の概要調査」

※「-」は、未公表を示す。



出典：国土交通省「国土数値情報ダウンロードサービス」

図 7.2.1-6 高山ダム流域内の土地利用の状況

## 7.2.2 ダムの立地特性

### (1) ダムへのアクセス

周辺都市からの交通網を図 7.2.2-1 に、高山ダム水源地域立地を図 7.2.2-2 に示す。

高山ダム水源地域には、奈良県内で最大の都市である奈良市をはじめ、三重県第7位の人口を持つ伊賀市、同8位の名張市が立地している。

高山ダム水源地域には、広域幹線である名阪自動車道、国道25号及び新名神高速道路が東西方向に縦走し、大阪及び名古屋方面からのアクセス利便性に優れている。

流域内には国道163号、県道上野南山城線が南北方向に縦走しており、高山ダムやダム湖周辺の施設等に容易にアクセスできる。

高山ダムの北方約2kmを東西方向にJR関西本線が通過しており、鉄道を利用した高山ダムへのアクセスも可能である。

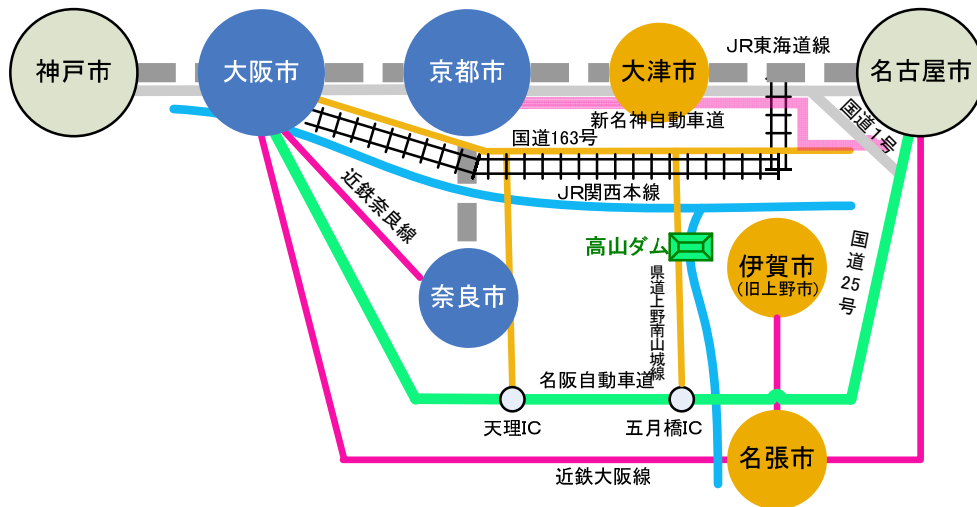


図 7.2.2-1 周辺都市からの交通網

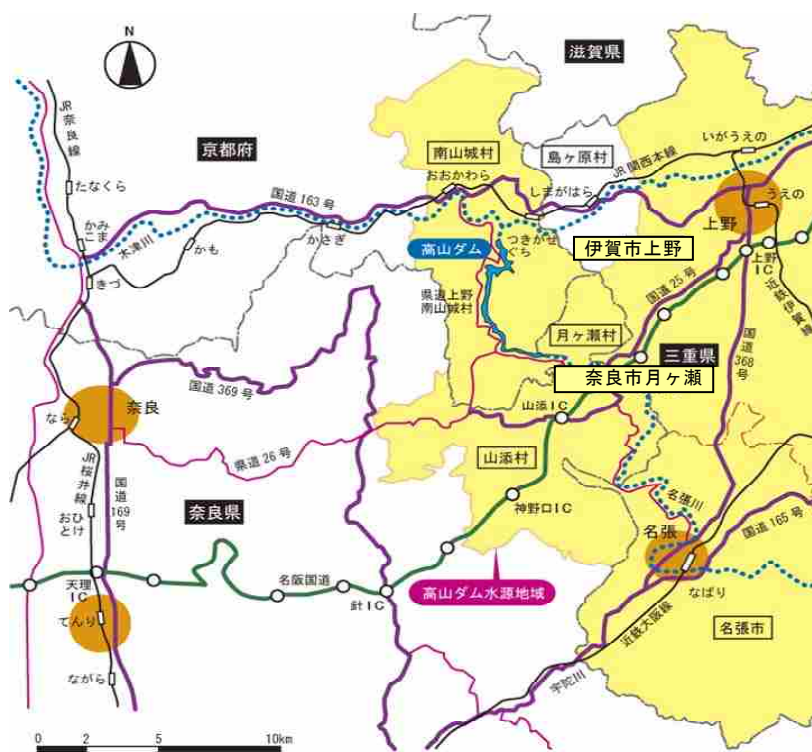


図 7.2.2-2 高山ダム水源地域立地

## ① 交通機関別アクセス条件

### 【道路】

#### ○広域幹線道路

高山ダム水源地域のほぼ中央には、大阪と名古屋を結ぶ名阪国道及び国道 25 号が東西方向に通っており、大阪都市圏及び名古屋都市圏からはそれぞれ約 1 時間半で到達することができる。

#### ○地域内幹線道路

高山ダム堤体の下流約 2km には木津川に沿って国道 163 号が東西方向に通過しており、高山ダム貯水池左岸を通る県道上野南山城線（82 号）と交差している。また、高山ダム堤体の南方約 20 km には国道 165 号が東西方向に通過しており、名阪国道と国道 165 号、国道 163 号が地域内における東西方向の軸を形成している。

これらの東西軸を結ぶように高山ダムの東方約 10 km に国道 368 号が南北に通っているほか、高山ダム貯水池の左岸側を通り、名張市に至る県道が地域内の南北軸を形成している。

以上の道路網によって、高山ダム水源地域は、交通利便性は比較的良好、近隣市町村からのアクセスが容易であるといえる。

### 【鉄道】

J R 関西本線が高山ダムの北方約 2 km を東西に通っており、高山ダム及びダム湖へは、月ヶ瀬口駅から徒歩約 30 分で到達できる。また、高山ダム貯水池上流端の南方約 10 km を近鉄大阪線が通っており、名張駅から自動車で約 30 分で到達できる。

## ② 高山ダム周辺へのアクセス条件

高山ダム周辺へのアクセスは、木津川の下流側から、名張川の上流側から、奈良市方面からの 3 方向がある。

木津川の下流側からのアクセスは、国道 163 号から県道上野南山城線を通りダム堤体左岸側に至るルートで、国道 163 号の分岐から自動車で約 10 分で堤体に到達できる。

名張川の上流側からのアクセスは、名阪国道の五月橋 IC もしくは国道 25 号から、県道笠置山添線及び上野南山城線を経て、貯水池左岸側の末端部にアクセスするルートで、五月橋 IC から自動車で約 20 分で高山ダムに到達できる。

また、奈良市方面からのアクセスは、名阪国道を利用するか、国道 369 号、県道 25 号等を通り、貯水池上流の左岸側にアクセスできるルートがあり、奈良市内から概ね 1 時間で高山ダムに到達できる。



(2) ダム周辺の観光施設等

高山ダム周辺の観光施設を図 7.2.2-3 に示す。  
 高山ダム周辺には以下のような観光資源がある。



出典：高山ダム管理所 HP

図 7.2.2-3 高山ダム周辺の観光施設

### 7.3 ダム事業と地域社会情勢の変遷

高山ダム事業と地域社会の変化を表 7.3-1 に示す。

高山ダム水源地域では、近年ダム湖を利用したイベント（月ヶ瀬レガッタ、むら活き生きまつり等）が多く行われるようになってきている。

表 7.3-1 高山ダム事業と地域社会の変化（年表）

年代	高山ダム事業とインフラ整備事業	地域社会の変化(新規産業活動、住民活動、交流活動)					
		南山城村	月ヶ瀬村 ↓ 奈良市月ヶ瀬 (H17年～)	山添村	上野市 ↓ 伊賀市伊賀上野 (H16年～)	名張市	
明治 昭和	22年		月ヶ瀬村誕生				
	16年				上野市誕生		
	28年		南山城村誕生				
	29年					名張市誕生	
	30年					名張小学校開校	
	31年			山添村誕生			
	32年	高山ダム建設説明会開催					
	34年					消防本部開庁	
	35年					新町橋復旧	
	36年				役場庁舎完成		
	37年	高山ダム工事事務所設置				火葬場完成	
	38年				山添分校校舎完成		
	39年		役場庁舎完成				
	40年	本体工事着手 名阪国道開通	水没移転家屋 43戸 水没面積 11,896a	水没移転家屋 74戸 水没面積 6,918a	水没移転家屋 4戸 水没面積 1,761a	水没移転家屋 67戸 水没面積 3,348a	上水道給水開始
	41年	コンクリート打設開始	附帯工事 4,548a	附帯工事 1,006a		附帯工事 100a	
	42年	国道25号線付替 主要地方道奈良津線付替	村内小学校プール完成				
	43年	本体コンクリート打設完了					
	44年	竣工式・管理開始	大河原小学校体育館完成				
	45年		高山ダム広場で第1回火火大会				
	46年		～ 山辺広域市町村圏指定 ～				
	47年		大河原地区簡易水道完成		山辺広域圏事業によるゴミ収集開始		
			南山城少年自然の家「グリーンバル南山城」				
	48年	国道165号全線開通	高山郵便庁舎竣工				青蓮寺湖
	49年				山辺広域消防組合山添署業務開始		老人福祉センター完成 特別養護老人ホーム完成
	51年		今山地区簡易水道完成				青蓮寺観光農園
	52年		田山地区簡易水道完成				名張自然休養村ロマンの森
54年		南山城村高尾公民館竣工		自然休養村管理センター	ゆめドームうえの	香落溪温泉	
55年		高尾地区簡易水道完成			岩倉溪ふれ愛公園	勤労者福祉会館開館	
57年			茶オーナ	山添村ふるさとセンター	忍者博物館	名張公民館完成	
58年				総合スポーツセンター完成	だんじり会館		
60年				基幹集落センター完成		保険センター完成	
62年		レイクフォレストリゾート		山添中学校開校			
63年			松原市少年自然の家「クリエート月ヶ瀬」		し尿処理センター稼働		
平成	3年	南山城村文化会館(やまなみホール)	梅の里 月ヶ瀬温泉				
	4年	南山城村図書室オープン	湖畔の里 つきがせ			郷土資料室	
	5年	高尾小学校体育館竣工	梅の里ふれあい館	歴史・民俗資料館		赤目四十八滝キャンプ場	
	7年	地域防災無線局開設	月ヶ瀬	ロマンピア月ヶ瀬			
	8年	フォローアップ調査	総合グラント改修		「茶の里映山紅」		
	9年	比奈知バイパス開通		月ヶ瀬オフトロラン		市立病院完成	
	10年	県道名張奈良線開通	中央簡易水道完成	福祉センター			
	12年	国道368号上野バイパス開通	村民体育祭 中学校駅伝競技大会				
	13年	高山ダムクオーターマラソン	月ヶ瀬レガッタ大会				
		管理所耐震改良工事	保険福祉センターオープン		やまぞえ小学校開校		
	14年	管理用洪水吐予備ゲート整備 非常用洪水吐クレストゲート閉鎖装置整備	イベントの開催、環境学習の実施、環境保全活動の継続と充実、地元の地域住民による交流会設立、ゴミ不法投棄に係わる組織設立、観光ガイドの育成、水源地域PR				
	15年	水源地域ビジョン			国営総合農地開発事業「大和高原北部地区」完工		
	16年				カントリーパーク大川	周辺町村と合併し伊賀市伊賀上野となる	
	17年			奈良市に編入合併され奈良市月ヶ瀬となる			
	18年		むら活き生きまつり 中学校駅伝競技大会	月ヶ瀬レガッタ大会			
	19年	新名神高速道路開通	村民体育祭 中学校駅伝競技大会	月ヶ瀬梅溪早春マラソン大会 月ヶ瀬レガッタ大会	大和高原民俗資料館	第2回高山ダム湖環境フォーラム	
	20年	一般農道「豊原地区」開通	むら活き生きまつり 村民体育祭 中学校駅伝競技大会	以降、「月ヶ瀬梅溪早春マラソン大会」「月ヶ瀬レガッタ(奈良市民レガッタ競技会)」は毎年実施			
	21年						
	22年		以降、「むら活き生きまつり」「村民体育祭」「中学校駅伝競技大会」は毎年実施				
	23年						
	24年						
	25年						
	26年	ダム総合点検実施					
	27年						
	28年						
	29年		道の駅「お茶の京都 みなみやましろ村」				
30年							
令和 元年							

凡例  
 市町村誕生、合併等  
 高山ダム建設に伴う直接的な変化  
 イベント、住民活動、交流活動  
 交流施設、地域振興拠点等の開設

高山ダム事業による水源地域への直接的な影響を表 7.3-2 に、公共施設補償を表 7.3-3 に、道路改良付替え位置を図 7.3-1 に示す。

表 7.3-2 直接的な影響

一般補償	土地		295.82ha
	山林	山林	245.45ha
		農地	41.77ha
		宅地	8.50ha
		その他	0.05ha
建物	家屋移転	196戸	
公共補償	付替道路19.0km(国道1.88km、府県道11.33km、市道5.80km)		
特殊補償	漁業権		4件
	鉱業権		1件
	月ヶ瀬梅林		1件

(世帯)

移転種別	南山城村	月ヶ瀬村	山添村	上野市	合計
水没による移転	43	74	4	67	188
附帯工事		7		1	8
計	43	81	4	68	196

表 7.3-3 公共施設補償

(件)

	学校	官公庁等	神社	プール
南山城村		5	5	2
月ヶ瀬村		9	9	3
山添村				1
上野市	1	3		1
計	1	17	14	7

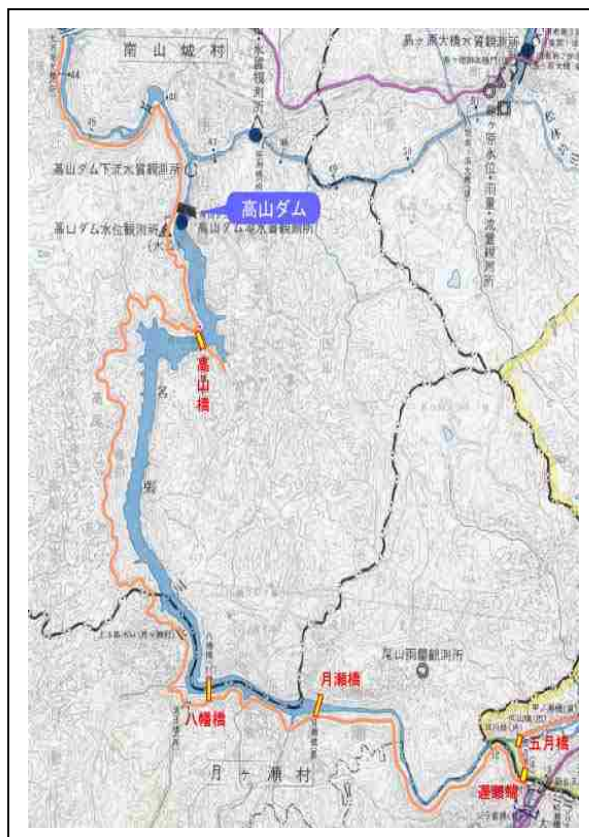


図 7.3-1 道路改良付替え位置

## 7.4 ダムと地域の関わりに関する評価

### 7.4.1 地域におけるダムの位置づけに関する整理

高山ダムでは、水源地域ビジョンの基本的な事項を定めた「水源地域ビジョン策定要綱」(平成13年4月12日、国土交通省)に沿って、地元住民や関係機関等が共同して「高山ダム水源地域ビジョン」を検討し、策定した。

「高山ダム水源地域ビジョン」は、“高山ダムを活かした水源地域の自立的、持続的な活性化のための行動計画”として、高山ダム水源地域の活性化に向けた基本方針を定め、基本方針の実現のための具体的な方策を、ソフト対策に重点を置いて検討、策定したものである。

具体的施策の策定にあたっての基本的な取り組み内容と考え方を以下に示す。

#### 1) 水辺環境の保全・向上

現在の水環境を将来に渡って適切に維持・継承していくために、ダムや河川管理者だけでなく、地域の自治体や住民等が協力、連携しながら、ダム湖や周辺河川での水質保全対策を中心に、現存する水辺環境の適切な保全・向上を推進する。

#### 2) 既存資源の有効利用

高山ダム周辺地域の地場産業を活用するとともに、地域にある既存の施設等を結ぶ様々なネットワークを形成するなどによって、高山ダム水源地域にある既存資源の有効利用を図る。

#### 3) 貯水池周辺施設や湖面利用に係わる施設等の充実

高山ダム周辺地域の観光レクリエーション拠点としての機能を向上させるために、貯水池周辺施設や湖面利用に係わる施設等の充実を図る。

#### 4) 交流活動の促進

高山ダム水源地域の持つ地域資源を有効に活かしつつ、情報の発信・共有化を推進するとともに、イベントの開催などの取り組みを進めることによって、地域内外での交流を促進する。

#### 5) 地域活動の活性化

地域住民が主体的、かつ、永続的に、地域活性化に向けた様々な取り組みや活動を行っていきけるように、関係機関による積極的な支援を行いつつ、現在行われている地域活動の継続・充実と、新たな地域活動に向けた取り組みの推進を図る。

## 7.4.2 地域とダム管理者の関わり

### (1) 高山ダム水源地域ビジョンの策定

高山ダム水源地域ビジョンの検討・策定は、以下に示す関係機関等により構成される「高山ダム水源地域ビジョン策定会議」によって行った。なお、同組織は緩やかな組織として規約等を設けずにビジョンの検討・策定にあたった。

- ・学識経験者・・・・・・・・・・・・・大学教授
- ・水源地域自治体・・・・・・・・・・・・・南山城村、月ヶ瀬村、山添村、上野市、名張市
- ・ダム管理者等・・・・・・・・・・・・・水資源開発公団(現独立行政法人水資源機構)、  
関西電力株式会社
- ・水源地域の住民団体等・・・・・・・・・・・・・木津川漁業協同組合、波多野漁業協同組合、  
月ヶ瀬村漁業協同組合、五月川漁業協同組合、  
豊里漁業協同組合、木津川を美しくする会、  
南山城村地域づくり研究会
- ・関係行政機関・・・・・・・・・・・・・国土交通省、京都府、三重県、奈良県

また、具体の検討作業は、下部組織である「高山ダム水源地域ビジョン策定連絡会」において行った。

高山ダム水源地域ビジョンの検討・策定は表 7.4.2-1 に示すように、策定連絡会 3 回（平成 14 年 10 月 17 日、平成 14 年 11 月 20 日、平成 15 年 2 月 5 日）、策定会議 1 回（平成 15 年 2 月 26 日）を開催し、各々の審議・検討項目に沿って検討を進め、平成 15 年 2 月 26 日の策定会議において「高山ダム水源地域ビジョン」を策定した。

高山ダム水源地域ビジョンの策定組織メンバーを表 7.4.2-2 に、策定した「高山ダム水源地域ビジョン」の概要を表 7.4.2-3 に示す。

表 7.4.2-1 高山ダム水源地域ビジョン策定経緯

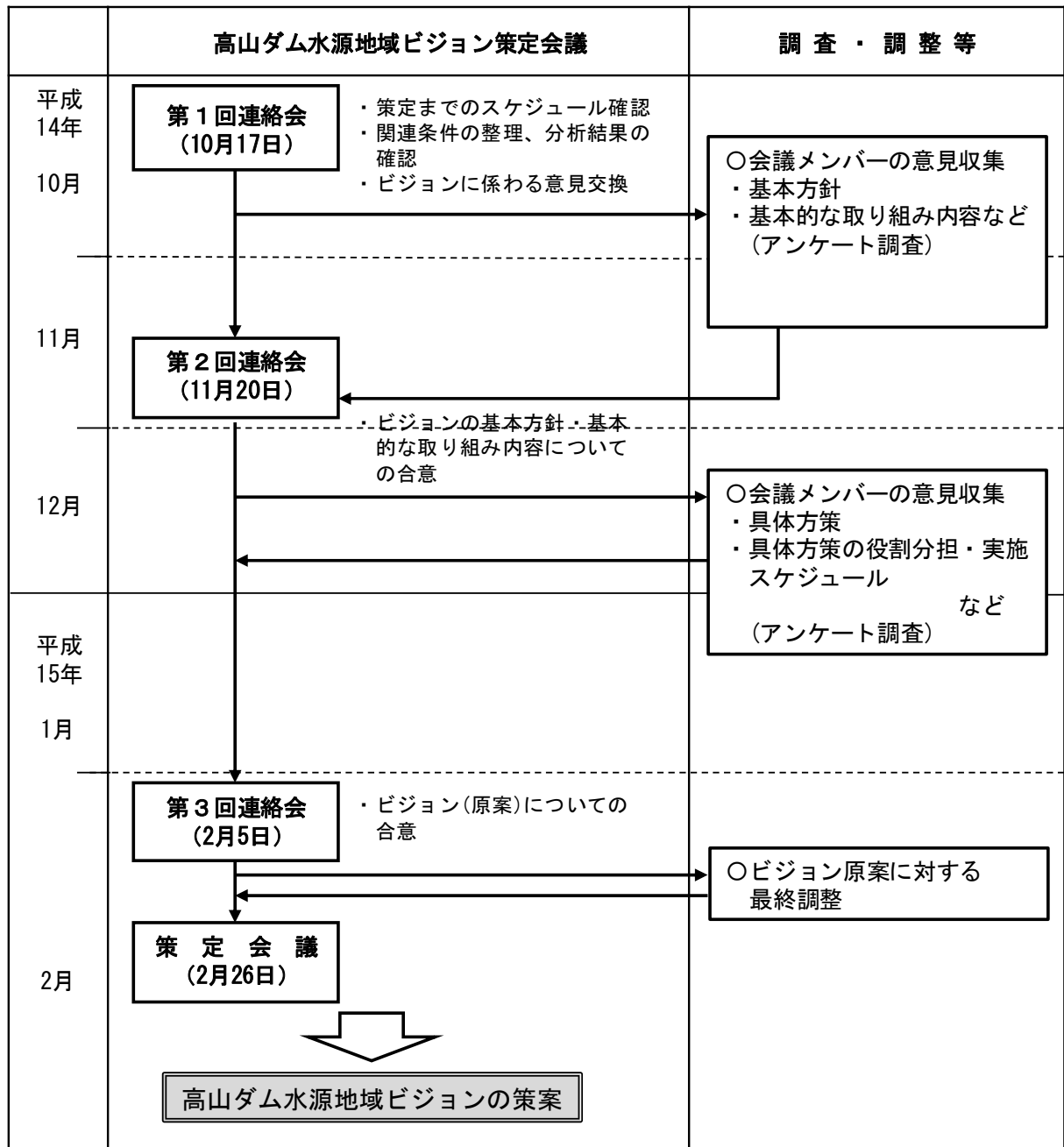
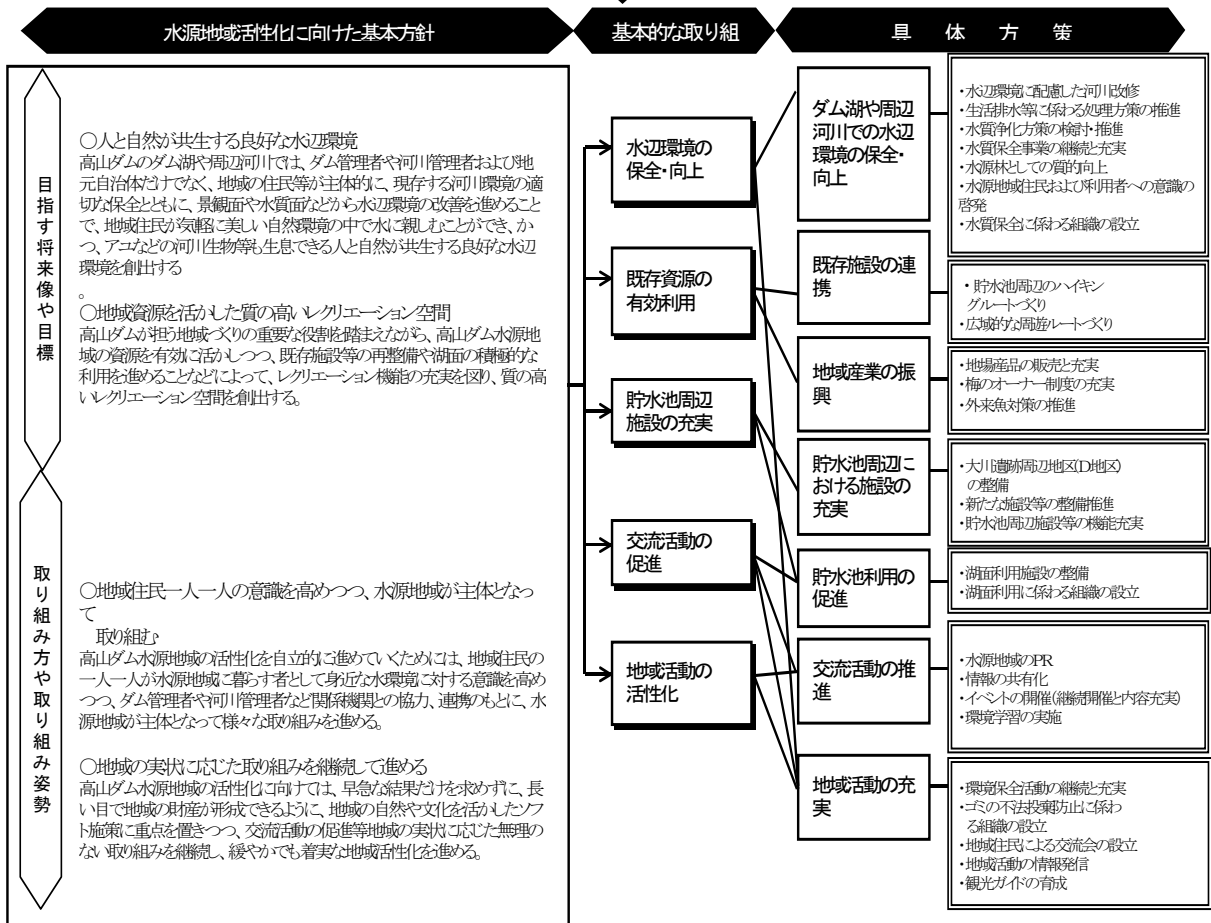


表 7.4.2-2 高山ダム水源地域ビジョンの策定組織メンバー

	策 定 会 議	策 定 連 絡 会
学識経験者	大学教授	大学教授
水源地域自治体		
南山城村	村長	企画財政課長
月ヶ瀬村	村長	産業課長
山添村	村長	企画財政課長
上野市	市長	土木部道路河川課長
名張市	市長	企画調整部企画調整課長
水源地域住民団体等		
木津川漁業協同組合	—	代表理事組合長
波多野漁業協同組合	—	組合長
月ヶ瀬村漁業協同組合	—	組合長
五月川漁業協同組合	—	組合長
豊里漁業協同組合	—	組合長
木津川を美しくする会	—	会長
南山城村地域づくり研究会	—	会長
ダム管理者等		
水資源開発公団 (現独立行政法人 水資源機構)	関西支社 支社長	関西支社 管理部長
		関西支社 管理部施設課長
	木津川ダム総合管理所長	管理課長
		高山ダム管理所長
関西電力(榊奈良支店)	支店長	支店長室長
関係行政機関 (オブザーバー)		
国土交通省 近畿地方整備局	河川部河川管理課長	河川管理課ダム管理係長
	木津川上流工事事務所長	調査課長
	淀川ダム統合管理事務所長	広域水管理課長
京都府	企画環境部長	企画参事付課長補佐
三重県	地域振興部長	県土利用・水資源・地域圏推進チーム
奈良県	企画部資源調整課長	水資源グループ主幹

表 7.4.2-3 高山ダム水源地域ビジョンの概要

《高山ダム水源地域の特定》		《水源地域自治体の目指す方向性と高山ダムの位置づけ等》	
<p>地域の特徴や資源・ポテンシャル</p> <p>水源地域全体</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>3府県にまたがる水源地域</li> <li>集客力のある観光資源</li> <li>高いアクセス利便性</li> <li>地域を特徴づける地場産品</li> </ul>	<p>活性化に向けた課題点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>水源地域内に立地する観光施設間の連携が不十分</li> </ul>	<p>○水源地域自治体の目指す地域整備の方向</p> <p>○南山村村の目指す地域整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>むらづくりの目標：「自然が薫り、人が輝く 元気村！みなみやましろ」</li> </ul> <p>○月ヶ瀬村の目指す地域整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>村づくりの目標：「いきいきとしたらうおいの里づくり」</li> </ul> <p>○山添村の目指す地域整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>むらづくりのキャッチフレーズ：「いい人いい村いきいき山添」</li> </ul> <p>○上野市の目指す地域整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>街づくりの目標（将来像）：「ときを伝え、ときを拓く、創造と交流の都市」</li> </ul> <p>○名張市の目指す地域整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>まちづくりのテーマ：「人と自然がさらめくしか生活文化都市 名張」</li> <li>その他                     <ul style="list-style-type: none"> <li>国土庁が南山村を対象に、交流と連携をテーマにした活性化のあり方について検討しており、具体策が提起されている。</li> </ul> </li> </ul>	<p>○高山ダムの位置づけ等</p> <p>○南山村村における高山ダムの位置づけ等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>高山ダム及び周辺地域の豊かな自然資源との共生とその活用を基本とし、自然環境の保全とともに水面や水辺におけるレクリエーション空間としての活用の推進や自然体験学習等を軸にした自然、歴史、民族、文化資源を観光レクリエーション資源として活用し、広域的な交流活動、観光レクリエーションの振興に結びつけるために、村内の既存施設を活用して多様なレクリエーション拠点の形成を推進するとともに、それらの拠点を結ぶネットワークの整備を目指す。</li> </ul> <p>○月ヶ瀬村における高山ダムの位置づけ等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「景観保全活用ゾーン」として良好な景観や湖面を利用した観光レクリエーション機能の導入が検討されている。具体的には、ボートや遊覧船、魚釣り等による湖面利用の推進やダム周辺でのイベントの充実、宿泊・研修施設の整備誘導によって滞在型レクリエーション基地の形成などの具体施策が示されている。</li> </ul>





## (2) 実行連絡会の実施状況

至近 10 ヶ年における高山ダム水源地域ビジョン実行連絡会の実施状況を表 7.4.2-4 に示す。

表 7.4.2-4 実行連絡会の実施状況

年度	実施日	内容
平成 22 年度	7 月 22 日	関係自治体、機関等から平成 21 年度の取り組み等の報告及び平成 22 年度の計画の報告が行われた。
平成 23 年度	8 月 4 日	関係自治体、機関等から平成 22 年度の取り組み等の報告及び平成 23 年度の計画の報告が行われた。
平成 24 年度	10 月 22 日	関係自治体、機関等から平成 23 年度の取り組み等の報告及び平成 24 年度の計画の報告が行われた。
平成 25 年度	11 月 28 日	関係自治体、機関等から平成 24 年度の取り組み等の報告及び平成 25 年度の計画の報告が行われた。
平成 26 年度	12 月 5 日	関係自治体、機関等から平成 25 年度の取り組み等の報告及び平成 26 年度の計画の報告が行われた。
平成 27 年度	2 月 19 日	関係自治体、関係機関等から平成 26 年度実施報告ならびに平成 27 年度計画、流域や貯水池の環境についての報告が行われた。
平成 28 年度	3 月 6 日	関係自治体、関係機関等からこれまでの実施報告ならびに平成 29 年度計画、流域や貯水池の環境についての報告が行われた。
平成 29 年度	3 月 6 日	関係自治体、関係機関等からこれまでの実施報告ならびに平成 30 年度計画、流域や貯水池の環境についての報告が行われた。
平成 30 年度	2 月 27 日	関係自治体、関係機関等からこれまでの実施報告ならびに平成 31 年度計画、流域や貯水池の環境についての報告が行われた。
平成 31 年度 /令和元年度	2 月 7 日	関係自治体、関係機関等からこれまでの実施報告ならびに令和 2 年度計画、流域や貯水池の環境についての報告が行われた。

(3) 管理者の地域に向けた活動等

平成 27 年から令和元年のダム見学者数を図 7.4.2-1 に示す。

平成 27 年から令和元年にかけては、年毎にばらつきはあるものの、年間約 260 人～720 人に対してダム見学を実施している。また、平成 22 年から令和元年における累計見学者数は、令和元年時点で約 4,000 人となっている。

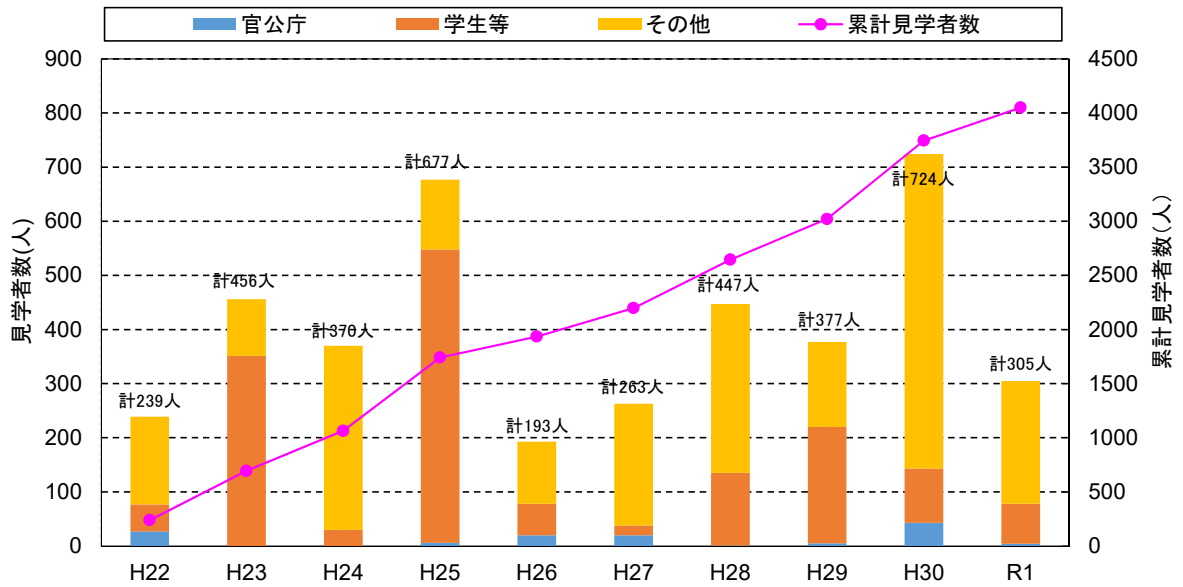


図 7.4.2-1 高山ダムの見学者数（平成 27 年から令和元年）

### 7.4.3 地域とダム管理者との関わりの評価

高山ダムでは、水源地域の自立的、持続的な活性化を目指し、地元住民や関係機関等が共同して「高山ダム水源地域ビジョン」を検討し、策定した。

高山ダム完成後、高山ダムを会場とするイベントが開催されるなど、地域活性化に貢献していると考えられる。また、管理者が開催する見学会への住民の参加者も多く、ダムの機能の学習だけでなく、環境教育の場としても利用され、地域にとって重要な役割を担っていると考えられる。

ダムを管理する水資源機構では、関係機関や地域との連携を図りながら、水源地域ビジョンに基づき、水源地域の自立的、持続的な活性化に貢献していると考えられる。

## 7.5 ダム周辺の施設状況

### 7.5.1 ダム周辺環境整備事業の状況

#### (1) ダム周辺の概況

高山ダム周辺は奈良県立月ヶ瀬・神野山自然公園に指定された地域であり、景勝地で、湖水と緑豊かな四季折々の自然景観の変化が楽しめる地域である。

また、周辺には伊賀上野（伊賀地域）、柳生の里（奈良地域）などの観光地が多く、大阪、京都、奈良及び名古屋などを結ぶ広域交通網も整備されていることから、多くの人々がダム湖を訪れている。



図 7.5.1-1 ダム周辺地域の状況（広域）

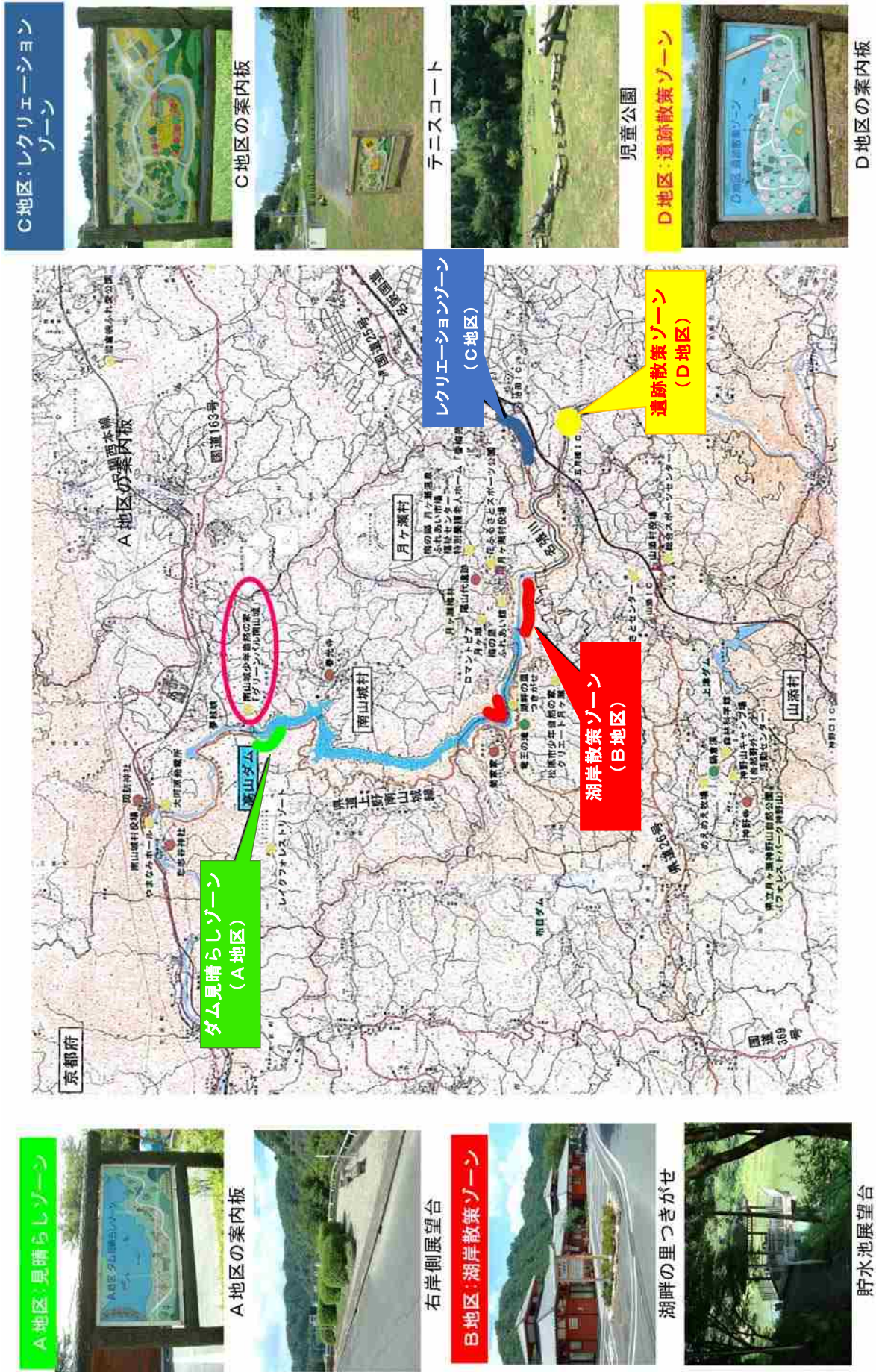


図 7.5.1-2 ダム周辺の施設整備状況



夢絃峡(南山城村)



レイクフォレストリゾート(南山城村)



梅の郷 月ヶ瀬温泉(奈良市(旧月ヶ瀬村))



ロマンТПィア月ヶ瀬(奈良市(旧月ヶ瀬村))



月ヶ瀬梅林(奈良市(旧月ヶ瀬村))



鍋倉溪(山添村)



上野公園(伊賀市(旧上野市))



観阿弥ふるさと公園(名張市)

図 7.5.1-3 ダム周辺の観光資源

高山ダム周辺地域(南山城村、月ヶ瀬村、山添村、上野市、名張市)の観光・レクリエーション、文化施設等の概要を表 7.5.1-1 に示す。なお、水源地域ビジョンにより新たに整備された施設はない。

表 7.5.1-1(1) 高山ダム周辺地域の観光・レクリエーション・文化施設等の概要

市町村名	施設等名称	施設概要
南山城村	諏訪神社	・田山地区の氏神である。水の神で、雨乞い祈願が行われる。
	夢絃峡	・木津川と山々のコントラストが美しく、昔から景勝地として知られている。
	やまなみホール	・世界的な建築家、黒川紀章氏が南山城村の山並をイメージして設計した文化ホール。毎年7月には「やまなみ国際音楽祭」が開催されている。
	レイクフォレストリゾート	・人と自然のふれあいを目的とした宿泊、スポーツ、リゾート施設。
	大河原発電所	・大正ロマンが薫るレンガ造りの発電所。春には桜が満開となる。
	恋志谷神社	・後醍醐天皇のお妃が祀られ、恋愛成就、子授けなど女性の守り神。
	春光寺	・真言宗智山派に属する。平安時代初期の作と言われる薬師如来立像が有名。
	不動の滝	・村内の滝の中でも最も大きいもので、落差は約20mある。村の北部、童仙房高原にある。
	南山城少年自然の家 「グリーンパル南山城」	・自然に親しむことを目的とした集団宿泊型の施設。
	童仙房高原	・南山城村北部に位置し、東西8km、南北6kmに広がる高原。標高500mにあり、爽快な気候である。
	道の駅 お茶の京都 みなみやましる村	・道路利用者の休憩施設であるとともに、利用者と地域のふれあいの場“地域の顔”となる施設。平成29年4月15日にオープンした。
奈良市 (旧月ヶ瀬村)	梅の郷 月ヶ瀬温泉	・露天風呂をはじめ、大・小の内風呂を備えた温泉施設。神経痛や筋肉痛等に効果的がある。
	ふれあい市場	・特産品や地元農家が栽培した野菜などを販売している。
	湖畔の里 つきがせ	・村内の特産品の直売や地域食材による郷土料理をたのしめる施設。
	ロマントピア月ヶ瀬	・茶の加工、地域の伝統食品づくり等の体験コーナーの他、手織りのぬくもりが伝わる奈良晒伝教室も開かれる施設。
	松原市少年自然の家 「クリエート月ヶ瀬」	・緑豊かな自然の中にあり、宿泊、研修から、キャンプ、アスレチック、テニス等まで楽しめる施設。
	竜王の滝	・桃香野の滝谷川の上流にあり、落差は10m以上。真夏でも涼気があふれている。
	菊家家住宅	・昭和43年に国の重要文化財に指定された、江戸時代中期の入母茅葺きの民家。
	梅の里ふれあい館	・奈良晒織機等が展示され、昔の生活や文化を学習できる。特産品直売コーナーや和室休憩所が完備されている。
	福祉センター	・平成10年にオープンした、在宅福祉サービスの充実と住民の健康増進を目的とした保健福祉施設。
	尾山代遺跡	・奈良時代前半から平安時代にかけての集落跡。竪穴式住居、掘立て柱建物などがある。
月ヶ瀬梅林	・1万本以上の梅林で、大正11年に名勝地に指定された。 (名勝指定第1号)	

表 7.5.1-1(2) 高山ダム周辺地域の観光・レクリエーション・文化施設等の概要

市町村名	施設等名称	施設概要
山添村	県立月ヶ瀬神野山自然公園	・昭和50年に指定された奈良県立自然公園。月ヶ瀬梅林と神野山のツツジ等を中心にした公園。
	鍋倉溪	・奈良県の天然記念物に指定されており、溶岩が流れ出したような景観を形成している。
	神野寺	・740年に僧行基によって建立されたと伝えられる。子孫繁栄、商売繁盛の祈願者が訪れる。
	大川遺跡	・名張川沿いの河岸で発見された縄文時代の遺跡で、瓦器や住居址が発掘されている。対岸には聖石である磨崖仏がある。
	神野山キャンプ場(自然野外活動センター)	・ロッジやテントでのキャンプの他、日帰りでのバーベキューもできる。
	森林科学館	・自然と生き物の関わりを楽しみながら学習できる施設。
	めえめえ牧場	・広大な芝生広場に50頭以上の羊が放牧されている。
	山添村ふるさとセンター	・特産物販売所、保健福祉センターなどの複合施設。
	総合スポーツセンター	・グラウンド、テニスコート、ゲートボール場、体育館などを完備している。
伊賀市 (旧上野市)	ゆめドームうえの	・見本市や各種スポーツ大会、式典などが行える多目的ホール。
	上野森林公園	・多数の草や木、鳥、昆虫などとふれあえる公園。
	城之越遺跡	・古墳時代前期に有力者が祭祀を執り行ったと言われる遺跡。
	芭蕉の森公園	・俳句や自然と親しむ施設として、俳句の庭、俳句の森などがある。
	岩倉峡ふれ愛公園	・木津川の渓谷にあり、水と森に親しめる。園内には吊り橋やキャンプ場、遊具がある。
	上野公園	・園内には上野城、俳聖殿、忍者屋敷などの名所・旧跡がある。4月には桜も見られる。
	俳聖殿	・昭和17年に芭蕉生誕300年を記念して建設された聖堂。
	忍者博物館	・忍者屋敷や忍者体験館などがある。
	だんじり会館	・三基のだんじりと鬼行列が常設展示されている。
名張市	青蓮寺湖	・青蓮寺川に建設された青蓮寺ダムのダム湖。テニス、バードウォッチング、ブラックバス釣りなどができる。
	夏見廃寺跡	・7世紀末から8世紀前半に天武天皇の娘が建立したとされる古代寺院跡。
	名張藤堂家邸跡	・1636年から明治維新まで、名張に居を構えた藤堂宮内家の屋敷跡。
	青蓮寺観光農園	・ぶどう、いちご狩りが体験できる。
	名張自然休養村 ロマンの森	・青蓮寺湖畔にある収容定員350名のキャンプ場で、バンカロー、テントなどが整備されている。
	香落溪温泉	・青蓮寺湖畔にあり、慢性リウマチ、神経痛などに効果がある。
	観阿弥ふるさと公園	・「観阿弥創座之地」の記念碑が祀られており、毎年11月第1日曜日に観阿弥まつりが開催される。
	美旗古墳群	・昭和53年に国の史跡に指定された、伊賀地方最大規模の古墳群。



## (2) ダム周辺環境整備事業の概要

### ① ダム周辺環境整備事業の目的

高山ダムは完成が昭和44年と古いダムであり、ダム事業として周辺で特別の環境整備は実施していない。

ダム周辺には月ヶ瀬梅林をはじめとして、多くの観光施設があり、今後も多くの人々がダムを訪れることが見込まれるため、ダム貯水池周辺の環境を整備し、自然環境と調和を図るとともに、水と緑のオープンスペースの有効活用によって、快適なレクリエーションと憩いの場を提供することを目的に周辺整備に係る事業が行われた。

### ② ダム周辺環境整備事業の基本方針

実施された整備事業は、当地域の特性から、「人と自然・歴史とのふれあい」を重視し、自然公園としての基本となる休息、展望、散策、レクリエーション、教育などの機能を有するダム公園とし、周辺地域の諸事業計画との整合を図り、地域の中で高山ダムのイメージが向上するよう配慮するものとされた。

◆ダム周辺環境整備事業の概要（整備地区）

「ダム周辺環境整備事業（昭和61年度から平成7年度）」は、ダム貯水池周辺の4地区において実施された。

ダム周辺環境整備事業の整備地区を図7.5.1-4に示す。



図 7.5.1-4 ダム周辺環境整備事業の整備地区

◆ダム周辺環境整備事業施設の管理

事業が完了した平成8年3月に、国土交通省近畿地方整備局木津川上流河川事務所、水資源機構及び各施設が位置する自治体とが、施設管理に関する基本協定を締結し、現在、関係する1市3村が各施設の維持・管理を行っている。

なお、各自治体は、地元住民等が組織する自治会、管理組合などに維持管理を委託している。

- |                  |                |
|------------------|----------------|
| A 地区：ダム見晴らしゾーン   | 京都府相楽郡南山城村     |
| B 地区：湖岸散策ゾーン     | 奈良県奈良市（旧 月ヶ瀬村） |
| C 地区：レクリエーションゾーン | 三重県伊賀市（旧 上野市）  |
| D 地区：遺跡散策ゾーン     | 奈良県山辺郡山添村      |

## (3) ダム周辺環境整備状況 (A地区：ダム見晴らしゾーン)

A地区のダム周辺環境整備状況を図 7.5.1-5 に示す。

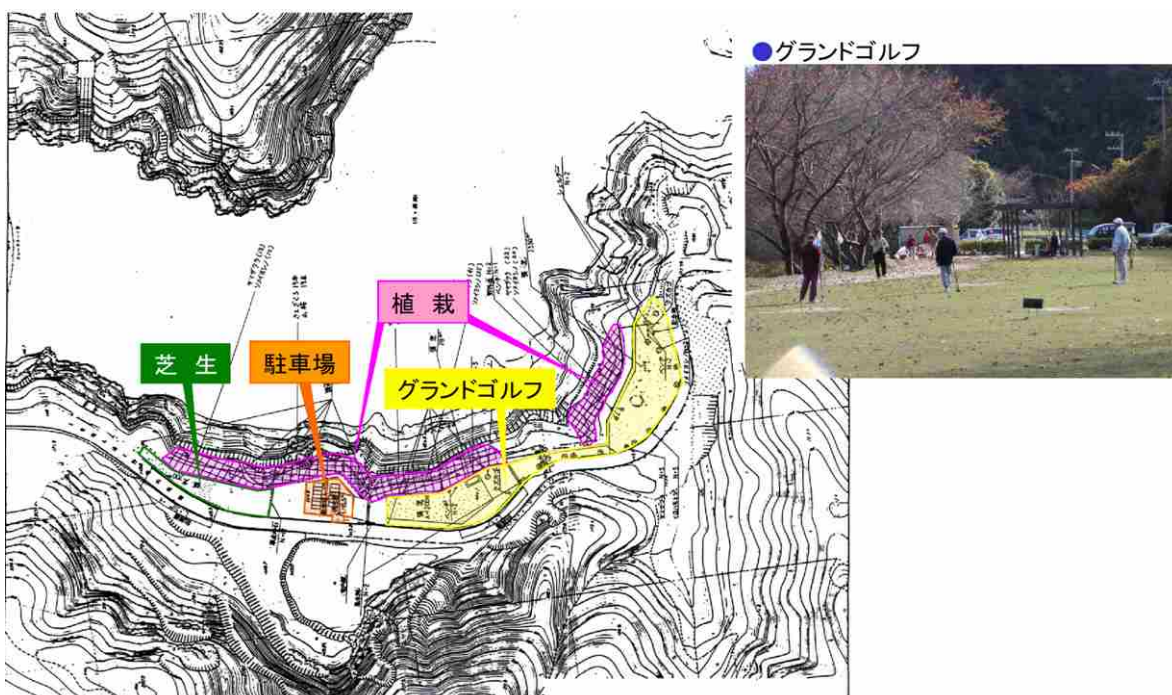


図 7.5.1-5 ダム周辺環境整備状況図 (A地区)

## 1) 整備方針

平坦地で四季を通じて利用でき、アクセス性も良好なこと、ダムサイトにも近く景観的な配慮が重要なことなどから、花（ヤマザクラ）等を配した修景広場が整備された。

## 2) 整備状況

## ○植栽

山 桜	115 本	昭和 62 年から平成 4 年
ソメイヨシノ	68 本	昭和 62 年及び平成 7 年
さとざくら	19 本	平成 2 年
も み じ	21 本	平成 3 年から平成 5 年

## ○主な施設

花見広場（芝生：4,258m <sup>2</sup> ）	平成 4 年から平成 6 年
駐車場（500m <sup>2</sup> 13 台）	平成 5 年
グランドゴルフ場	平成 5 年

## 3) 利用状況

当地区にあるグランドゴルフ場では、地元住民等が主催する大会が開催されており、年間 約 15,000 人が利用している。

また、桜の開花時期には花見を目的に多くの人々が訪れている。

## (4) ダム周辺環境整備状況 (B地区：湖岸散策ゾーン)

B地区のダム周辺環境整備状況を図 7.5.1-6 に示す。

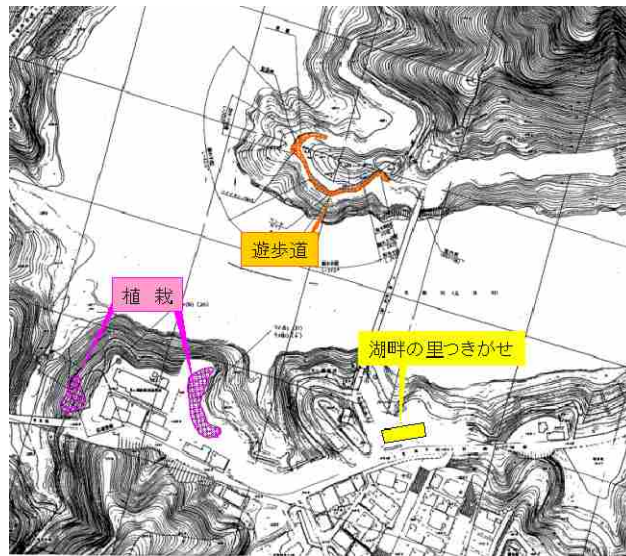


図 7.5.1-6 ダム周辺環境整備状況図 (B地区)

## 1) 整備方針

月ヶ瀬の梅溪として有名な場所で、沿道には多くの梅の木が植えられ花見を楽しむ人が多いため、「花と緑と水の里」にふさわしい景観をより一層高めることを目的に、貯水池斜面にサクラ、ウメなどが植樹された。

## 2) 整備状況

## ○植栽

山	桜	126本	昭和62年
	ウメ(白)	222本	昭和62年
	ウメ(紅)	100本	昭和62年
	ソメイヨシノ	3本	平成7年
	ヤマモミジ	95本	昭和62年
	ユキヤナギ	130本	昭和62年

## ○主な施設

散策路(約160m)・・・平成3年及び平成4年

## ○その他自治体の整備

湖畔の里つきがせ(物販施設)・・・平成10年

## 3) 利用状況

当地区は国の文化財に指定されている月ヶ瀬梅林内に位置し、シーズン中には近隣の月ヶ瀬梅林、月ヶ瀬温泉等と合わせて年間約51万人の観光客が訪れている。

また、貯水池内への進入路があり、釣り客に利用されている。

当地区内には物販施設もあり、多くの人が立ち寄っている。

(5) ダム周辺環境整備状況 (C地区：レクリエーションゾーン)

C地区のダム周辺環境整備状況を図 7.5.1-7 に示す。



図 7.5.1-7 ダム周辺環境整備状況図 (C地区)

1) 整備方針

主として周辺住民の野外活動ゾーンとして位置付けられ、子供から老人まで多くの人が多目的なレクリエーションを楽しむことができるような施設が整備されている。

2) 整備状況

○植栽

山 桜	50 本	平成 5 年
ソメイヨシノ	91 本	平成 7 年
サツキツツジ	30 本	平成 7 年
マメツゲ	20 本	平成 7 年
サザンカ	9 本	平成 7 年

○主な施設

ゲートボール場	5 面	平成 6 年
テニスコート	2 面	平成 6 年
グランドゴルフ	9 ホール	平成 7 年
児童公園	1 ヶ所	平成 5 年から平成 7 年
簡易便所	1 ヶ所	平成 5 年

3) 利用状況

当地区にあるゲートボール場では、地元住民が主催する多くの大会が開催されており、年間約 1,200 人が利用している。また、その他の施設（グランドゴルフ場、児童公園、テニスコート）も地元住民を中心に、年間約 1,500 人の人が利用している。

## (6) ダム周辺環境整備状況 (D地区：遺跡散策ゾーン)

D地区のダム周辺環境整備状況を図 7.5.1-8 に示す。

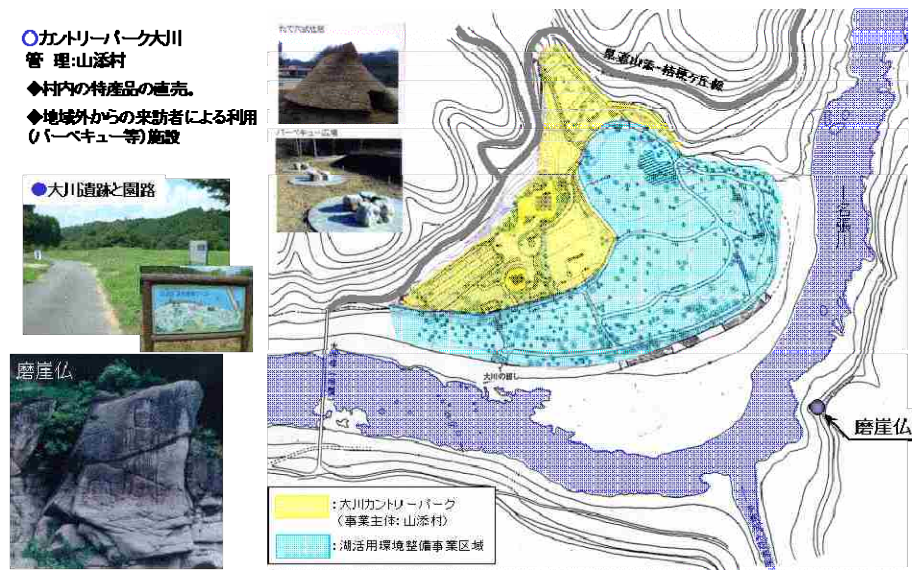


図 7.5.1-8 ダム周辺環境整備状況図 (D地区)

## 1) 整備方針

当地区は大川遺跡が埋蔵されているところであり、この貴重な歴史的財産を保護するとともに、十分に活用するために、堅穴式住居の復元などの整備が行われた。

また、整備地区の対岸には露出した岩肌には磨崖仏があるため、祈りの場を考慮した計画とした。

## 2) 整備状況

## ○植栽

サクラ(種不明) 253本・・・平成6年、平成7年

## ○主な施設

散策路 約660m・・・昭和63年

渡し場 1式・・・昭和63年

## ○その他自治体による整備

大川カントリーパーク・・・平成15年(事業主体:山添村)

## 3) 利用状況

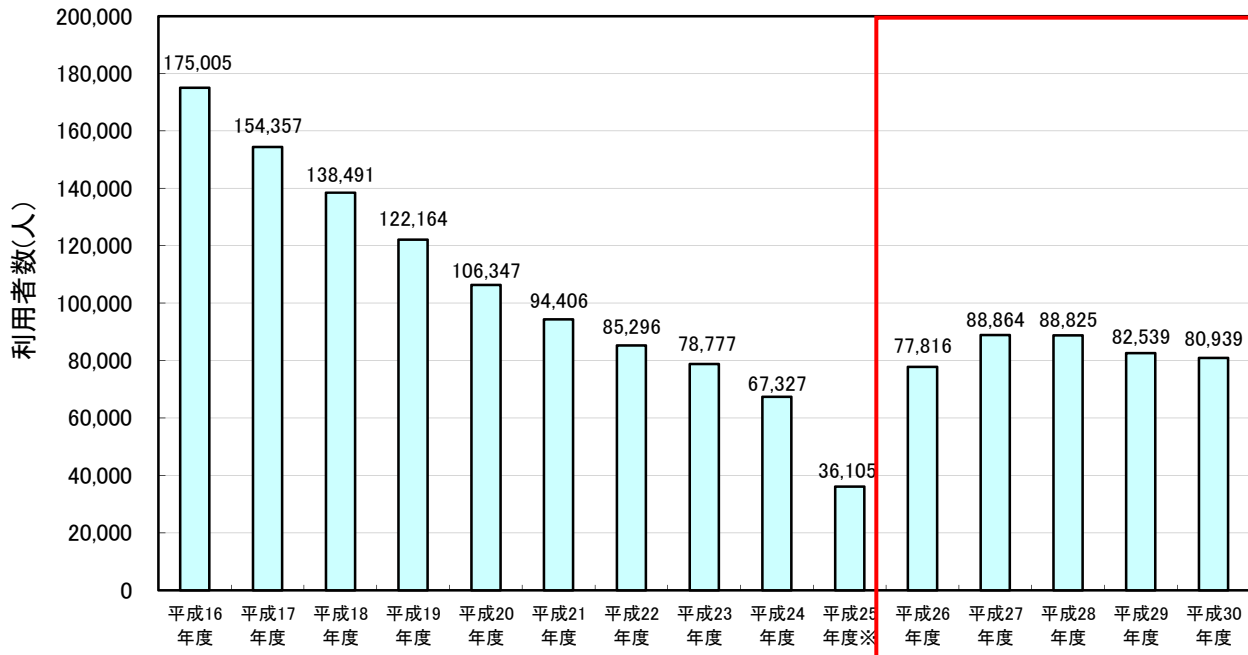
当地区は、名張川河岸で瓦器や住居址が発掘され、縄文時代の大川遺跡があり、これらを巡る散策路が利用されている。

また、隣接する「カントリーパーク大川(事業主体:山添村)」が平成16年4月にオープンし、これまで、多くの人がバーベキュー、魚釣り等を目的に訪れている。

### 7.5.2ダム周辺施設の利用状況

高山ダム近傍の「月ヶ瀬温泉」の年間利用者数の推移を図 7.5.2-1 に示す。

平成 18 年度から平成 24 年時点までは減少の一途で、平成 16 年の約 38%にまで減少していたが、平成 25 年のリニューアル後、平成 26 年度以降の 5 年間は約 8 万人前後で推移している。



※平成 25 年 7 月 1 日から平成 26 年 1 月末までは、リニューアル工事のため休館  
 出典：『統計なら』(https://www.city.nara.lg.jp/soshiki/7/9175.html) の観光データ

図 7.5.2-1 「月ヶ瀬温泉」の年間利用者数の推移

### 7.5.3 ダム周辺のイベント等の開催状況

#### (1) イベント等の実施状況

平成 27 年から平成 30 年に開催された高山ダム周辺のイベント等の開催状況を表 7.5.3-1 及び図 7.5.3-1 に示す。

高山ダムでは、地元漁業協同組合が貯水池内でフナを、ダム上下流の河川ではアユ等の放流を行っており、夏季を中心に年間を通じて多数の釣り客が訪れる。また、貯水池中流域に月ヶ瀬梅溪があり、梅の開花時期には観光やハイキングなどで賑わっている。

貯水池周辺では月ヶ瀬レガッタやマラソン大会等のイベントが開催され、レクリエーションの場として利用されている。また、ダムツアーをはじめ、ダム管理施設の見学者が多数来訪され、ダム施設概要説明や監査廊案内を行っている。

表 7.5.3-1(1) 高山ダム周辺のイベント等の開催状況（平成 27 年）

開催期間	行事等名	開催場所	主催者	参加人数	行事内容等
2月22日	高山ダム駅伝大会	月ヶ瀬湖周辺	高山ダム駅伝事務局	約400名	小学生の部、中学生の部、高校生の部、一般の
2月15日 ～2月31日	月ヶ瀬梅溪梅まつり	月ヶ瀬梅溪周辺	月ヶ瀬観光協会他	—	高山ダム貯水池(月ヶ瀬湖)中流部には、約1万本の梅があり、多くの観光客で賑わう
5月30日	木津川一斉清掃	高山ダム周辺	木津川流域クリーン作戦実行委	(機構職員7名)	木津川一斉清掃活動
7月19日	外来魚駆除活動	月ヶ瀬湖	木津川漁業協同組合	(機構職員6名)	ブラックバス等外来魚の駆除
10月17日	山城地方中学駅伝大会	月ヶ瀬湖周辺	山城地方中学校体育連盟山城島	—	山城地方の中学校による駅伝大会
11月23日	南山城村むら生き生きまつり	南山城村総合グラウンド	南山城村むら生き生きまつり実行委員会	約4,000名	祭り時にダム湖巡視体験、ダム堤内探検を実施



木津川一斉清掃時の様子

図 7.5.3-1(1) 高山ダム周辺のイベント等の開催状況（平成 27 年）



表 7.5.3-1(2) 高山ダム周辺のイベント等の開催状況（平成28年）

開催期間	行事等名	開催場所	主催者	参加人数	行事内容等
1月31日	高山ダム駅伝	月ヶ瀬湖周辺	南山城村総合型地域スポーツクラブ設立準備委員会、 南山城村社会体育振興	約400名	駅伝大会（小学生の部、中学生の部、高校生の部、一般の部）
2月21日	月ヶ瀬梅溪早春マラソン大会	月ヶ瀬湖周辺	月ヶ瀬梅溪早春マラソン大会事務局	約460名	マラソン大会
2月21日～3月31日	月ヶ瀬梅溪梅まつり	月ヶ瀬梅溪周辺	月ヶ瀬観光協会	-	高山ダム貯水池（月ヶ瀬湖）中流部には、約1万本の梅があり、多くの観光客で賑わう
5月28日	木津川一斉清掃	高山ダム貯水池周辺も含めた木津川	木津川漁業協同組合、木津川を美しくする会、木津川管内河川レンジャー	（機構職員8名）	木津川一斉清掃
6月19日	月ヶ瀬レガッタ	月ヶ瀬湖	奈良市、奈良市教育委員会、奈良市体育協会	24チーム出場	ナックルフォア（1チーム5名）（少年男子の部（中・高生）、少年女子の部（中・高生）、一般男子の部、一般女子の部）
7月17日	外来魚駆除活動	月ヶ瀬湖	木津川漁業協同組合	25名（うち機構職員7名）	ブラックバス等の外来魚駆除
10月15日	山城地方中学校駅伝競走大会	月ヶ瀬湖周辺	山城地方中学校体育連盟、山城・乙訓地方各市町（広域連合）教育委員会	約1200名（44校が参加）	山城地方の中学校による駅伝大会
10月16日	高山ダム釣り大会	月ヶ瀬湖	NPO法人ENJIN	44名	釣り大会
11月23日	南山城村生き生きまつり	南山城村総合グラウンド	南山城村むら生き生きまつり実行委員会	約4000名	まつり開催時に、ダム堤体内の見学、ダム貯水池巡視体験を実施



木津川一斉清掃時の様子

図 7.5.3-1(2) 高山ダム周辺のイベント等の開催状況（平成28年）

表 7.5.3-1(3) 高山ダム周辺のイベント等の開催状況（平成29年）

開催期間	行事等名	開催場所	主催者	参加人数	行事内容等
5月27日	木津川一斉清掃	木津川流域、高山ダム	木津川管内河川レンジャー他	-	木津川河川敷、堤防内清掃活動
6月18日	レガッタ競技会	高山ダム湖	奈良市市民活動部スポーツ振興課	12	湖面の利活用、奈良県市民体育大会レガッタ（ボート）競技会
7月19日 8月27日	ダム湖内外来種駆除	高山ダム湖	木津川漁業協同組合	1回目：12 2回目：11	湖面の利活用、外来種駆除を目的とした釣り大会
11月23日	むら生き生きまつり	南山城村総合グラウンド	南山城村	-	特産品販売、ダムの施設見学や湖面巡回体験の実施



木津川一斉清掃時の様子



レガッタ競技会

図 7.5.3-1(3) 高山ダム周辺のイベント等の開催状況（平成29年）

表 7.5.3-1(4) 高山ダム周辺のイベント等の開催状況(平成30年)

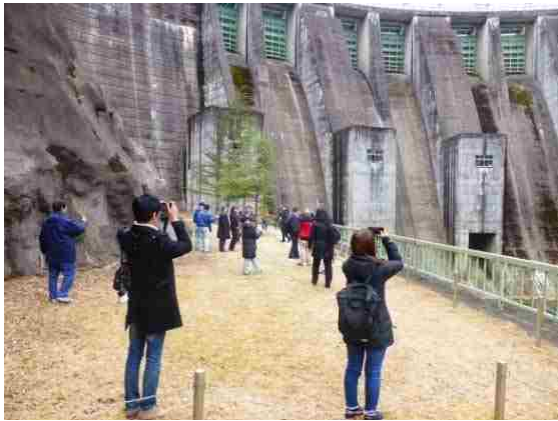
開催期間	行事等名	開催場所	主催者	参加人数	行事内容等
1月26日 8月31日 9月8、9日	ダム見学ツアー	高山ダム	奈良市観光協会 京都京阪バス (株)	約120名	高山ダムカード、ダム カレー、観光放流等見 学
2月11日	木津川一斉清掃	木津川流域、 高山ダム	木津川管内河川 レンジャー他	-	木津川河川敷、堤防内 清掃活動
2月18日	月ヶ瀬梅溪早春 マラソン大会	木津川流域、 高山ダム	月ヶ瀬地域振興 協会	-	ダム湖岸を利用したマ ラソン大会
5月26日	木津川一斉清掃	木津川流域、 高山ダム	木津川管内河川 レンジャー他	-	木津川河川敷、堤防敷 清掃活動
6月17日	レガッタ競技会	高山ダム湖	奈良市市民活動 部スポーツ振興 課	約100名	湖面の利活用、レガッ タ(ボート)競技会
7月2日	ダム湖内外来種 駆除	高山ダム湖	木津川漁業協同 組合	-	湖面の利活用、外来種 駆除を目的とした釣り 大会
10月20日	山城地方中学校 総合体育大会駅 伝競走の部	高山ダム 管理用道路及 び周辺道路	山城地方中学校 体育連盟	約1,200名	ダム湖岸を利用した駅 伝大会
10月26日	平成30年MINI BUDDY HALLOWEEN PARTY	高山ダム 駐車場	MINI BUDDY 実行 委員会	約150名	特産品販売、ダムの施 設見学や湖面巡回体験 の実施
11月23日	むら生き生きま つり	南山城村総合 グラウンド	南山城村	-	特産品販売、ダムの施 設見学や湖面巡回体験
12月2日	バス釣り大会	高山ダム湖	プロショップか つき	約40名	湖面を利用したバス釣 り大会



木津川一斉清掃



むら生き生きまつり



ダム見学ツアー



MINI BUDDY HALLOWEEN PARTY

図 7.5.3-1(4) 高山ダム周辺のイベント等の開催状況（平成30年）

表 7.5.3-1(5) 高山ダム周辺のイベント等の開催状況（令和元年）

開催期間	行事等名	開催場所	主催者	参加人数	行事内容等
2月3日	南山城村高山ダム駅伝大会	高山ダム管理用道路及び周辺道路	南山城村お茶っぴクラブ	約800名	ダム湖岸等を利用した駅伝大会
2月23日	木津川一斉清掃	木津川流域、高山ダム	木津川管内河川レンジャー他	-	木津川河川敷、堤防敷清掃活動
5月25日 2月16日	木津川一斉清掃	木津川流域、高山ダム	木津川管内河川レンジャー他	-	木津川河川敷、堤防敷清掃活動
6月16日	レガッタ競技会	高山ダム湖	奈良市市民活動部スポーツ振興課	約100名	湖面の利活用、レガッタ（ボート）競技会
7月24日、31日 8月7日、20日	やましろ未来っ子サイエンスラリー	京都府山城地域および高山ダム	京都府山城教育局	約30名	ダムの施設見学を実施
7月15日	ダム湖内外来種駆除	高山ダム湖	木津川漁業協同組合	-	湖面の利活用、外来種駆除を目的とした釣り大会
9月21日	京都きづ川アクティビティフェスタ2019	木津川流域高山ダム	相楽東部「ひと・企業」誘致促進協議会	約20名	ダム堤内探検ツアー
10月19日	山城地方中学校総合体育大会駅伝競走の部	高山ダム管理用道路及び周辺道路	山城地方中学校体育連盟	約1,500名	ダム湖岸を利用した駅伝大会
10月26日	水源地周辺一斉清掃	高山ダム管理用道路及び周辺道路	高山ダム水源地域ビジョン	約50名	ダム湖周辺の清掃活動
10月27日	MINI BUDDY HALLOWEEN PARTY 2019	高山ダム駐車場	MINI BUDDY 実行委員会	約40名	特産品販売、ダムの施設見学を実施
11月23日	むら生き生きまつり	南山城村総合グラウンド	南山城村	-	特産品販売、ダムの施設見学や湖面巡回体験の実施



木津川一斉清掃



MINI BUDDY HALLOWEEN PARTY



むら生き生きまつり

図 7.5.3-1(5) 高山ダム周辺のイベント等の開催状況（令和元年）

(2) ダムカードの配布

高山ダムのダムカード配布状況を図 7.5.3-2 に示す。

イベント参加者やダム来訪者にダムカードを配布し、ダムへの関心や興味を持ってもらう取り組みも行っている。

平成 19 年度のダムカード配布開始以降、年間配布枚数は増加傾向にあり、直近の令和元年度の配布数は 4,884 枚に達した。ダムカード配布状況からも、高山ダムへの関心が高くなっていることが伺える。

なお、令和元年 11 月 23 日～令和 2 年 3 月 31 日の間、管理開始 50 周年記念ダムカードを配布することとしていた。新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点より、令和 2 年 2 月 27 日より配布を中止していたが、令和 2 年 11 月 1 日から再開し、令和 3 年 3 月 31 日まで配布している。

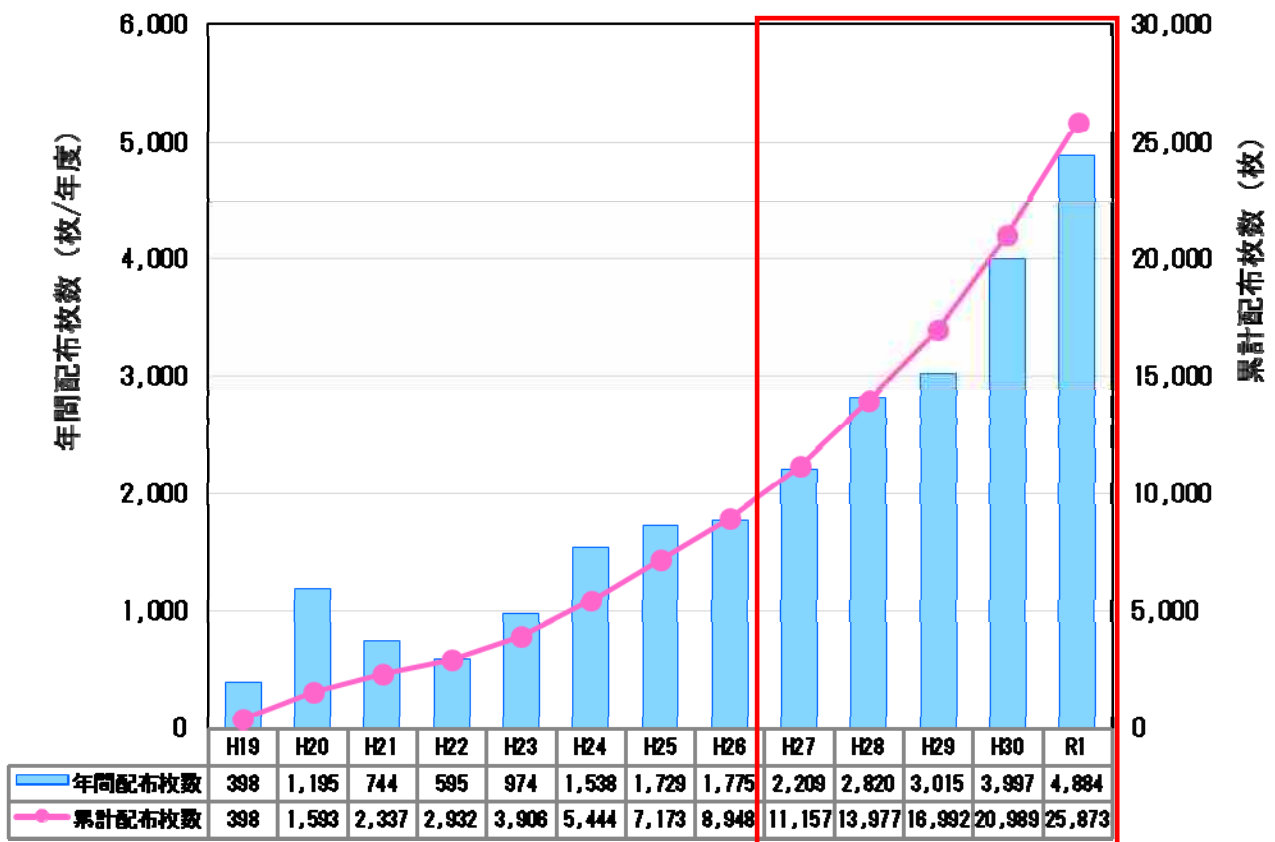


図 7.5.3-2 ダムカード配布状況(平成 19 年度から令和元年度)

また、ダムカードの配布については、木津川ダム総合管理所で全国共通のダムカード以外に「手作りダムカード」という独自のものを作成、配布した。これは、過去の水源  
地ビジョン会議において提案され実行されてきたもので、令和元年5月31日まで配布を  
実施していた。



図 7.5.3-3 手作りダムカード (2巡目)



## (3) その他の取り組み

## ①ダムカレー

高山ダムカレーを図 7.5.3-4 に示す。

高山ダム周辺にある「梅の郷月ヶ瀬温泉 お食事処梅こころ」では、平成29年より「高山ダムカレー」を販売している。

また、(一社)京都山城地域振興社「お茶の京都 DM0」が監修し、京都京阪バス(株)が「天ヶ瀬ダム・高山ダム」ツアーを企画実施するに当たりツアー参加者のみに提供される特別メニューとして「高山ダムカレー」が提供された。



<高山ダムカレー>



<高山ダムカレー (特別メニュー)>

図 7.5.3-4 高山ダムカレー

そのほか、木津川ダム総合管理所の5ダムに川上ダムを加えた6ダムのダムカレーについてもPR活動を行っている。

②絵葉書、風景印

木津川ダム総合管理所の5ダムでは、絵葉書と風景印が作成されている。

高山ダムでは、「南山城村自然の家」でダム堤体が写る絵葉書が入手でき、高山郵便局で風景印（消印）を押してもらえる。

#### 7.5.4ダム周辺利用の評価

高山ダムは、ダム周辺施設やダム湖が地域のイベント会場として利用されることが多く、地域に対し、レクリエーション活動や交流の場を提供している。また、高山ダムでは、イベントでのダム見学会の開催やイベントへの協力のほか、外来種駆除などの水源地域の環境保全を積極的に行うなど、地域社会に向けた活動に積極的に取り組んでいる。

ダム管理者である水資源機構は、地域活性化や啓発等に資するため、ダムや周辺施設を利用したイベントや活動等の開催支援を積極的、継続的に実施していく役割を担っている。今後も地域活動の支援や連携を行い、更なる地域とのパートナーシップ構築を図っていくことも重要である。

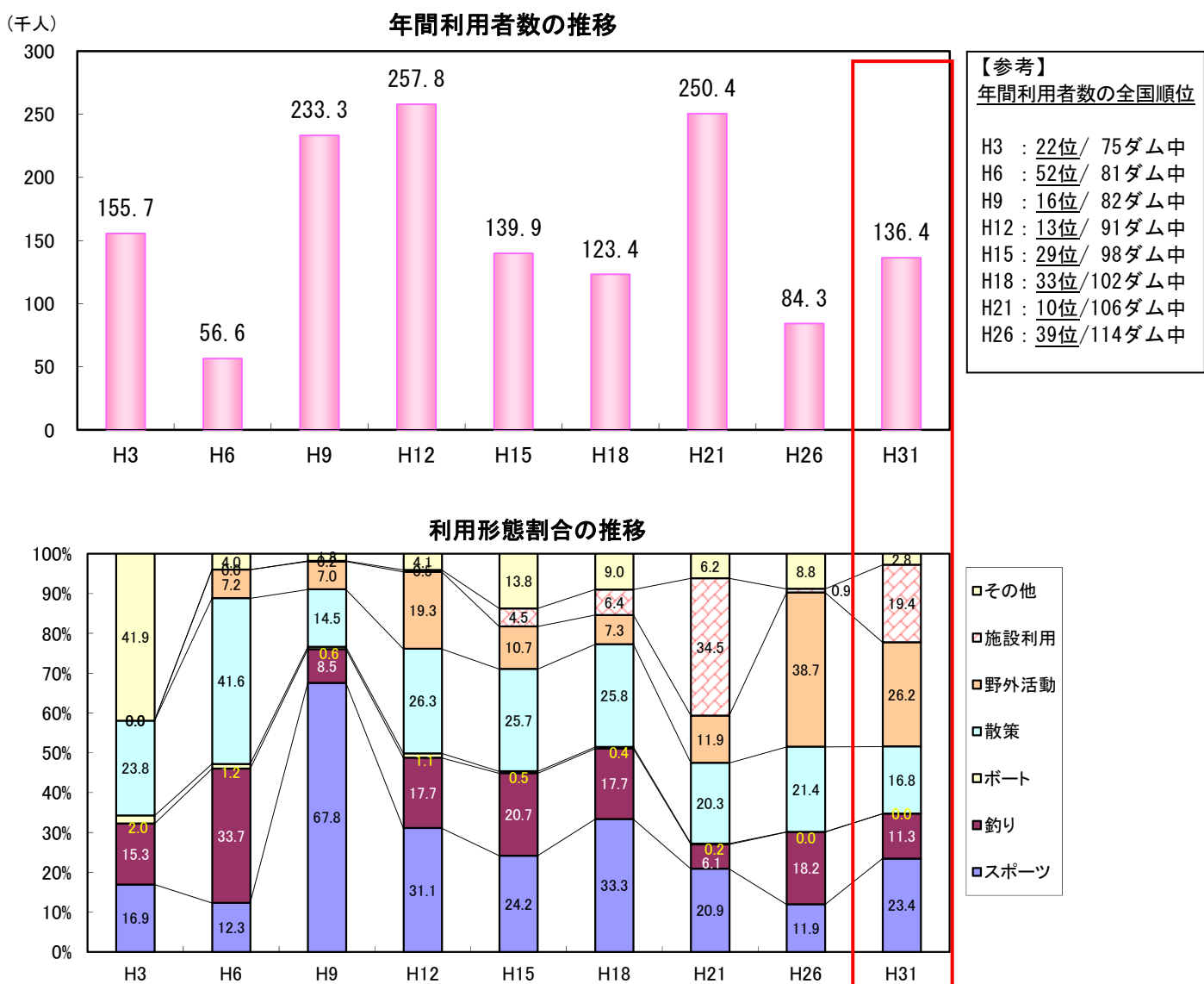
## 7.6 河川水辺の国勢調査(ダム湖利用実態調査)結果

### 7.6.1 ダム湖利用実態調査

河川水辺の国勢調査(ダム湖利用実態調査)による利用状況経年変化を図 7.6.1-1 に示す。

ダム湖利用実態調査から年間利用者数を推計すると、平成 31 年度における高山ダム来訪者数は、13 万 6 千人程度であった。利用形態は「野外活動」が最も多く、次いで「スポーツ」、「施設利用」の順に割合が多かった。

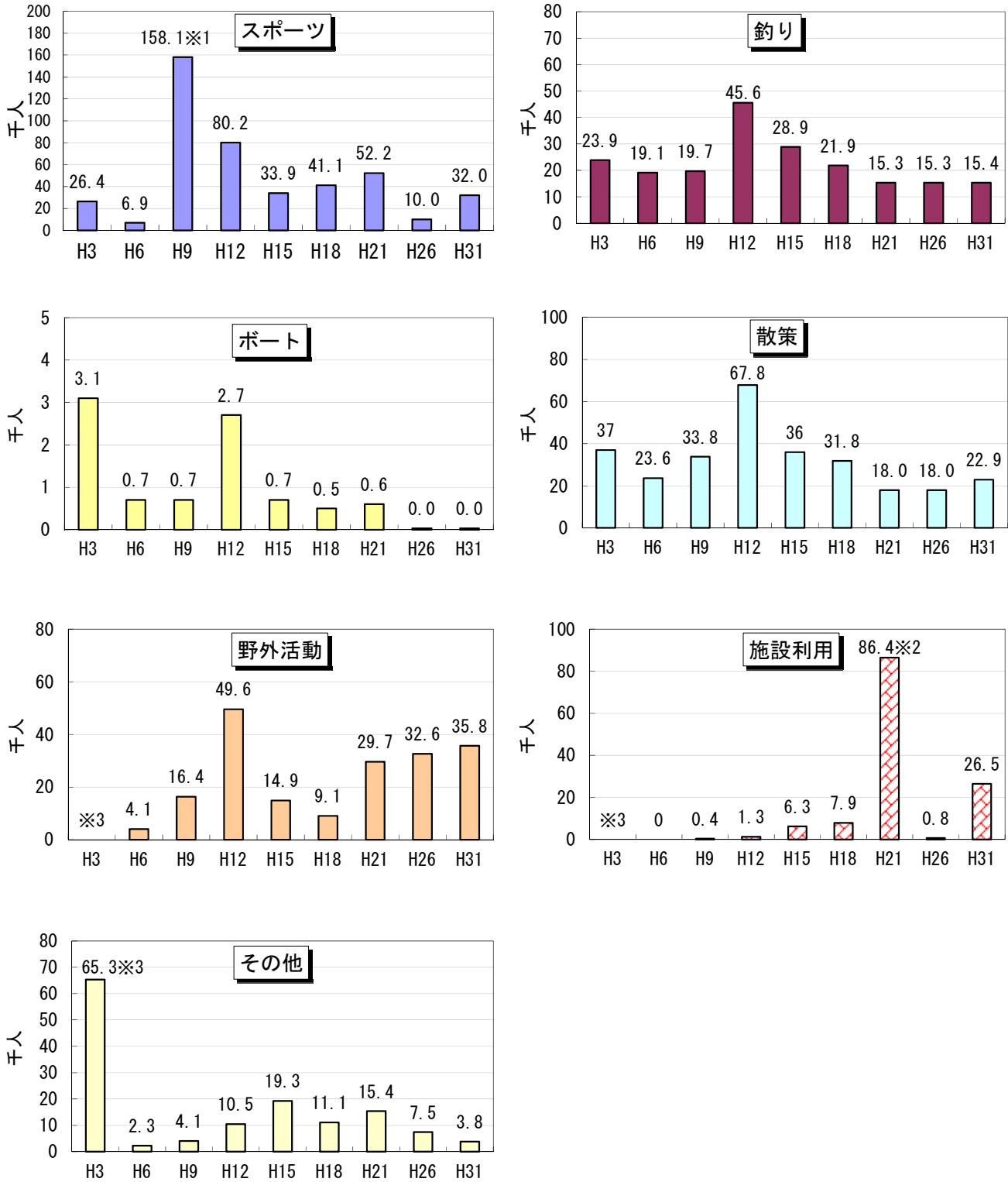
なお、平成 26 年の年間利用者数の減は、ダム近傍施設である「グリーンパル南山城(京都府立南山城少年自然の家)」が、調査期間中、運営していなかったことによる影響が大きいと考えられる。



※出典：

「平成 31 年度河川水辺の国勢調査結果[ダム湖版](ダム湖利用実態調査編)」(令和 2 年 3 月, 国土交通省河川局河川環境課)

図 7.6.1-1 河川水辺の国勢調査(ダム湖利用実態調査)による利用状況経年変化



※1 平成9年度のスポーツ利用者数が多いが、夏季調査日が「月ヶ瀬オフロードラン」と重なったためと考えられる。  
 ※2 平成21年度の施設利用者が多いが、調査日に「グリーンパル南山城(南山城少年自然の家)」の利用者が多かったためと考えられる。  
 ※3 平成3年度は、「野外活動」「施設利用」は、「その他」として集計されている。

図 7.6.1-2 高山ダム周辺の利用形態別利用者数の状況

【参考：ダム湖利用実態調査の調査方法及び年間利用者数の推計方法】

1. 調査項目・調査時期

表-(1) 調査項目、目的および作成する様式

調査項目	目的	調査実施日等
利用者カウント調査	年間利用者数の推計に用いる基礎データ（サンプル日における利用者数）の収集。 あらかじめ設定した「ブロック区分※1」毎に調査を行った。	表-(2)に示す調査実施日（合計7日間）において実施。
利用者アンケート調査	ダム湖の利用目的、感想等の把握および年間利用者数の推計にあたっての基礎データの収集。	
イベント調査	ダム湖における利用者数の影響要因である各種イベントの開催状況および参加人数の把握。	調査実施年の3月1日から翌年2月28日までの1年間における状況を聞き取り調査等により実施。
施設利用者数調査（H18, 21のみ実施）	ダム湖周辺にある施設での日別利用者数の把握	調査実施年の3月1日から翌年2月28日までの1年間において実施。

※1 ブロック区分：利用者カウント調査において利用者数の集計を行う地理的単位。基本的には、調査対象区域内の利用環境を踏まえ、調査対象区域を複数のエリアに分割する。

表-(2) 調査実施日一覧

番号	季節区分	平日休日区分	各年の調査実施日等		備考
			平成26年度まで	平成31年度	
1	春季	休日	4月29日（祝日）	昭和の日	ただし、参加人数100人以上のイベント、悪天候、施設の休館日と重なったときは、適宜直近の日で設定
2			5月5日（祝日）	こどもの日	
3		平日	5月中旬の平日	5月の第3月曜日	
4	夏季	休日	7月最終日曜日	7月の最終日曜日	
5		平日	8月上旬の平日	7月の最終日曜日の翌日	
6	秋季	休日	11月3日（祝日）	文化の日	
7	冬季	休日	1月上旬の休日	成人の日	

2. 調査方法

(1) 利用者カウント調査

- ・調査区域内の利用者数を現地で実測する方法である。
- ・利用者数は、設定したブロック毎に、時間帯別、性別、年齢別、利用区分別に人数をカウント。
- ・原則として、日の出から日没までの間に2時間毎で実施する。
- ・各調査時刻における観測値の合計を一日の利用者数とみなす。

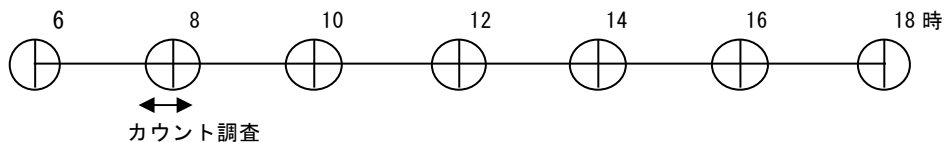


図-(1) 利用者カウント調査の実施間隔の考え方

(2) 利用者アンケート調査

本調査は、利用者に対して直接質問し、回答を得ることにより実施。調査実施日は、利用者カウント調査実施日(7日間)とする。必要なアンケート対象者数(最少サンプル数)は、各調査実施日において20人以上を目標とした。

**(3) イベント調査**

本調査は、ダム管理者や施設の運営主体等から、調査区域内において開催されたイベントについて、聞き取りを行うことにより調査を実施した。

表-(3) 対象とするイベントの考え方

対象とするイベント等	
期 間	当該年3月から翌年2月の1年間において開催されたイベント等とした。
時 間 帯	対象とする時間帯は特に制限しない。
規 模	参加人数が概ね100人以上となるイベント等とした。
種 類 等	対象とするイベント等の種類や実施・運営主体等は特に制限しない。

**3. 年間利用者数の推計方法**

各季節別に実施した合計7回の調査(カウント)結果とイベント調査結果をもとに、ダム毎に1年間のダム湖利用者数の推計を行った。

年間の利用者数の推計に当たっては、季節、休日と平日の違いを考慮し、各季節の休日、土曜日、平日の利用者数(実測値を基本とする)を原単位とし、それに各季節の休日・土曜日・平日の日数を乗じた推計値にイベント調査結果を加えることにより、年間利用者数の推計を行った。

また、天候による補正のために、季節毎に曜日区分ごとの晴れ・雨日数を宇奈月ダムの最寄りの気象台の記録から求めた。調査実施日の利用者数(実測値)は天候係数を乗じて、調査実施日の曜日の晴れの日の利用者数を求めた。天候係数は観測日が晴天の場合は1、雨天の場合は晴係数1.940とした。

各季節の土曜日及び秋季と冬季の平日については調査を実施しないため、各季の実測値に曜日係数を乗ずることにより、1日あたりの利用者数を求めた。

なお、曜日係数は「土曜日=0.41×休日」、「平日=0.22×休日」とした。

各曜日の晴れの日の利用者数に雨係数0.515を乗じて、雨の日の利用者数を求めた。

各季節、各曜日の晴れ、雨の日の利用者数に最寄りの気象台の記録で求めた晴れ・雨日数を乗じて、季節ごとの曜日別利用者数を求めた。これらを合計して、季節別利用者数、並びに年間利用者数を算出した。

### 7.6.2 利用者の特性

ダム湖利用実態調査時に行った利用者アンケート調査の結果から、高山ダム利用者の特性を整理した。

アンケートの回答者数は、以下のとおりである。

- 平成 18 年度：111 人
- 平成 21 年度：100 人
- 平成 26 年度：116 人
- 平成 31 年度：182 人

#### (1) 利用者の年齢層

利用者の年齢層を図 7.6.2-1 に示す。

利用者層は、平成 26 年度までは 30 代から 60 代までの年齢層が概ね同率の割合で占めていたが、平成 31 年度は 60 代の割合が減少し、30 代から 50 代までの利用者が大半を占めた。

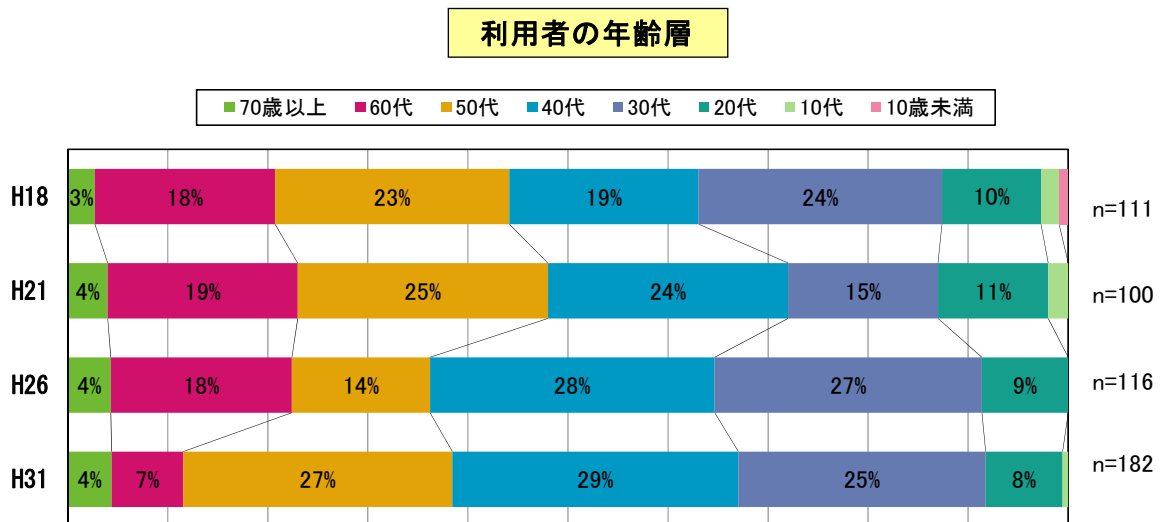


図 7.6.2-1 利用者の年齢層の変化



(2) 利用者の居住地等

利用者の居住地（都道府県別）を図 7.6.2-2 に示す。

来訪者の居住地は大阪府が多く、大阪府、京都府、奈良県で約 8 割を占めている。また、関西圏（大阪府、京都府、奈良県、滋賀県など）、中京圏（愛知県、岐阜県、三重県など）で約 95%を占めている。

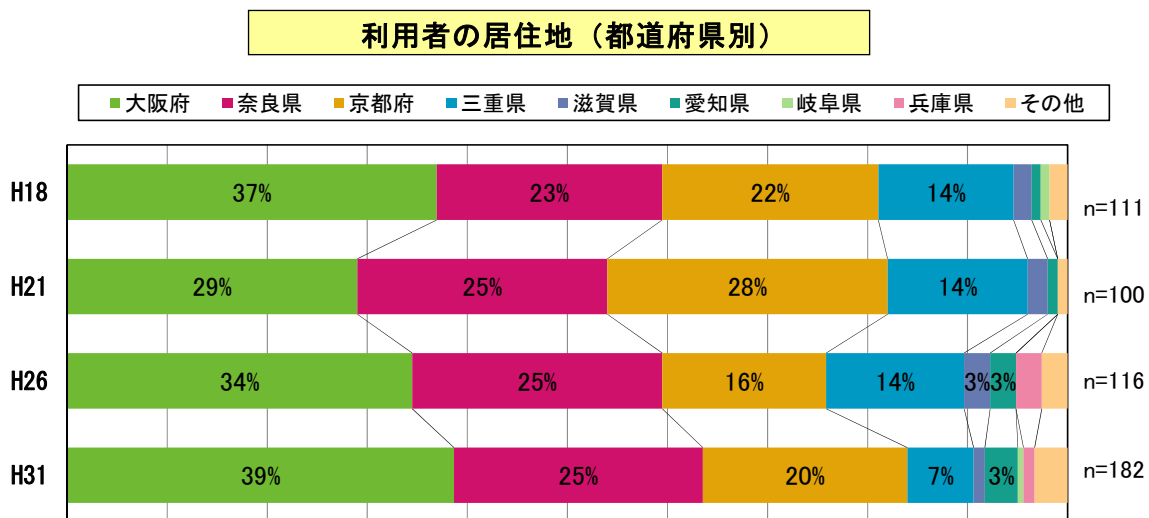


図 7.6.2-2 利用者の居住地（都道府県別）

利用者の来訪経験を図 7.6.2-3 に示す。

高山ダムを訪れた利用者のうち、71%～85%をリピーターが占めている。平成 31 年度は、初めて高山ダムを訪れた利用者が過年度の調査から最も多く、全体の約 3 割を占めた。

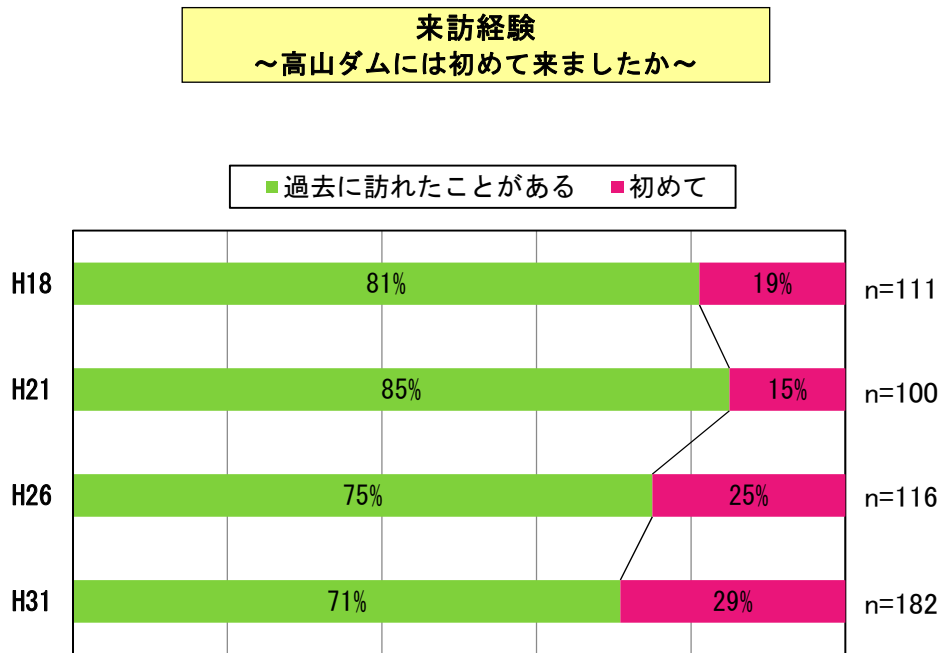


図 7.6.2-3 利用者の来訪経験

(3) 同伴者

利用者の同伴者を図 7.6.2-4 に示す。

平成 31 年度は家族連れで訪れる利用者が最も多く、全体の約半分を占めた。

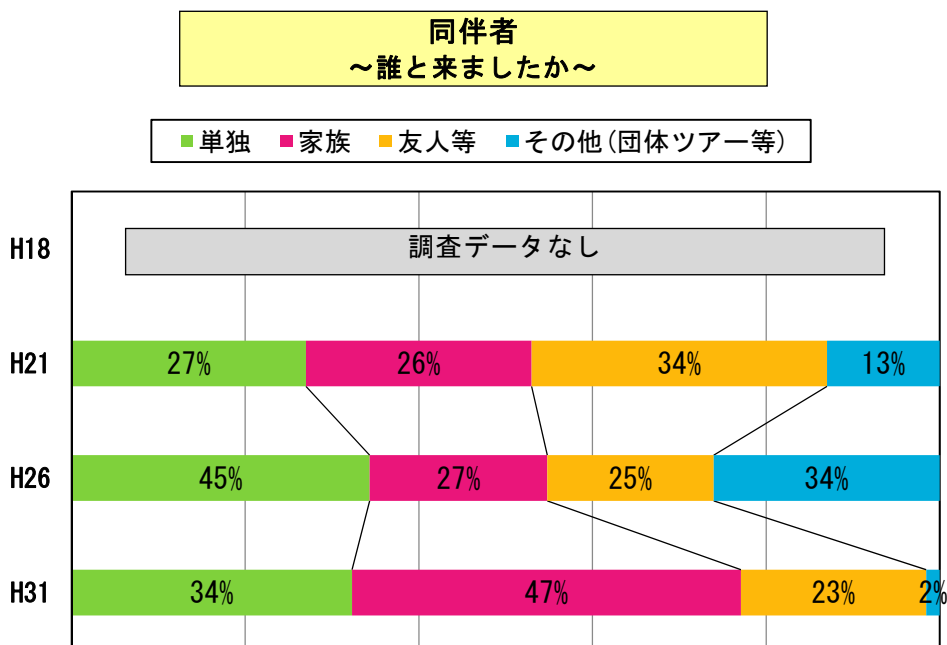


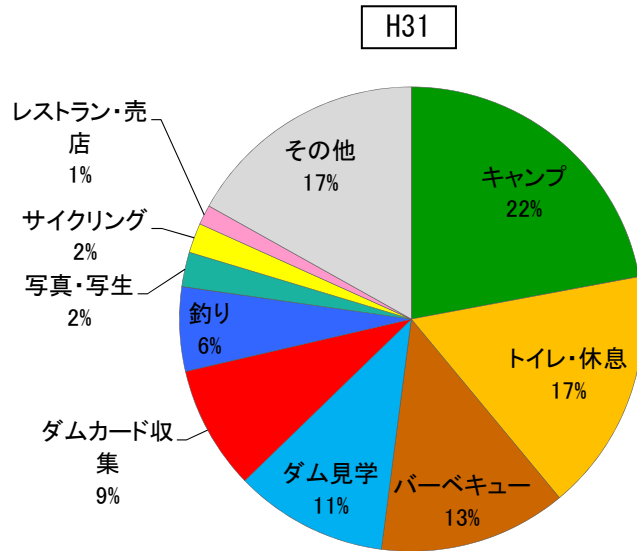
図 7.6.2-4 利用者の同伴者

(4) 来訪目的

利用者の高山ダムへの来訪目的を図 7.6.2-5 に示す。

平成 31 年度における利用者の来訪目的は、キャンプを目的とした利用者が最も多く、次いでトイレ・休憩、バーベキュー、ダム見学、ダムカード収集となっている。

高山ダムを訪れた目的（複数回答）



<参考：平成 21 年度・平成 26 年度：利用者来訪目的>

平成 31 年度マニュアル改定により、平成 26 年度調査以前は平成 31 年度調査と来訪目的のアンケート項目が異なる。

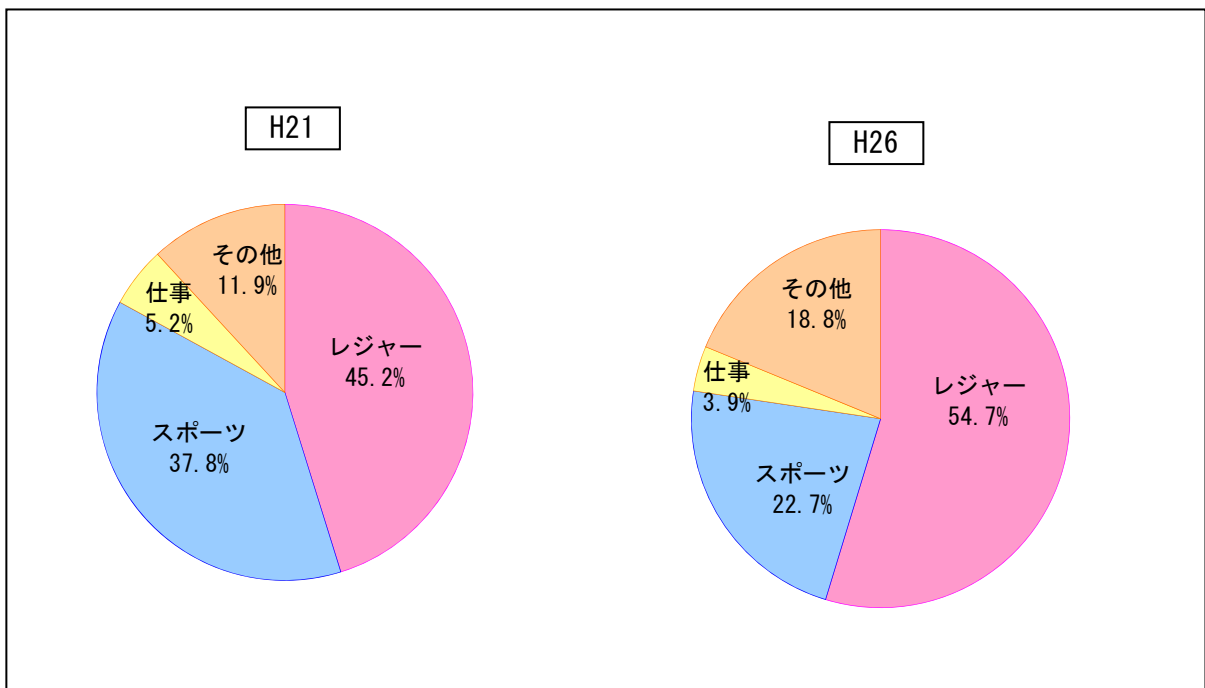


図 7.6.2-5 利用者の高山ダムへの来訪目的

(5) 利用者の感想

利用者の感想を図 7.6.2-6 に、利用者からの意見や要望を表 7.6.2-1 にそれぞれ示す。  
 平成 31 年度における高山ダムを利用した人の感想は、「満足」「まあ満足」が 87%を占めており、平成 26 年度以前に比べて「満足」と回答した利用者の割合が増加している。一方、「やや不満」「不満」と回答した人は 2%程度であり、道路やゴミへの不満、施設（設備）に対する不満がみられた。また、釣りに関する感想が多いのは、高山ダムの特徴と言える。

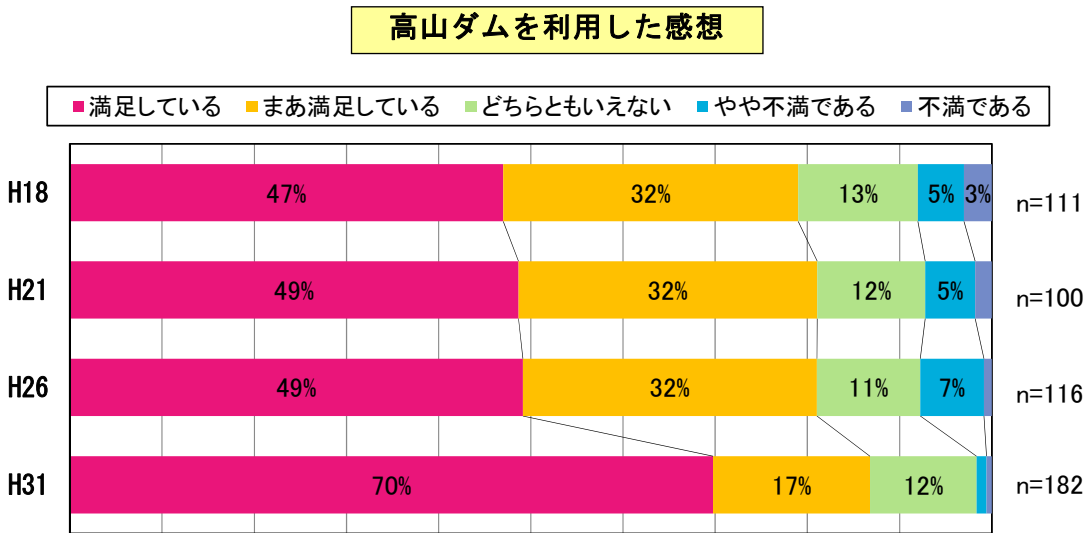


図 7.6.2-6 利用者の感想

表 7.6.2-1 利用者からの意見・要望

	H21	H26	H31
施設・道路に関する内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境は良いが道が狭い。</li> <li>・ゴミが多い。</li> <li>・設備が悪い。</li> <li>・車がスピードをだして危ない。</li> <li>・雨が降ると、屋根のある場所が少ないから。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道が悪い。</li> <li>・案内が不十分。</li> <li>・お店に魅力がない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路が悪い(路面が悪い)。</li> <li>・ゴミを持ち帰らない者がいる。</li> </ul>
釣りに関する内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・釣り用の昇降箇所が少なすぎる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用しづらい。(釣り客)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・湖岸からは釣りがしにくい。</li> <li>・釣り人のマナーが悪い。</li> </ul>
水質に関する内容		<ul style="list-style-type: none"> <li>・川が汚い。石にぬめりがある。</li> <li>・ダム湖の水質が悪い。</li> <li>・ダムにより川の環境が変化している。</li> </ul>	

### 7.6.3ダム湖利用の評価

高山ダム及びダム貯水池周辺には、月ヶ瀬梅溪やキャンプ場等が整備されており、高山ダム周辺への観光客が多い。

また、釣り客にも人気の場所となっており、釣り利用が多いことも高山ダムの特徴である。

交通の便がよく、大阪を中心とした関西圏の利用が多く、交通の便も良いことから幅広い年代が訪れている。

利用者の満足度は高く、リピーターも多いことから、ダム周辺整備等の効果が表れているものと考えられる。しかし利用者からは、設備などに対する不満の声もあり、より利用者に配慮した施設の維持管理を行いつつ、修繕、老朽化対策などについて、今後検討していく必要性も考えられる。

## 7.7 まとめ

高山ダムは、昭和44年に管理を開始し、令和元年度で管理開始50年を迎え、施設見学やイベント等を通じて、ダムの認知度や施設利用頻度も高まっていると考えられ、前項までの内容や国勢調査結果を踏まえ、以下のように評価する。

### <まとめ>

- ・高山ダム周辺には、伊賀上野（伊賀地域）、柳生の里（奈良地域）等の観光地が多く、また、奈良県立月ヶ瀬・神野山自然公園に指定されているなど風光明媚な地域であり、散策、ハイキング、サイクリング等、多数の観光客が訪れている。
- ・高山ダムでは、地元小学校や地域住民及び関係機関等に対して見学の受け入れを積極的に行っており、小学生や一般者のダム及び環境の学習の場としても確実に定着している。
- ・高山ダムは、「レガッタ競技会」、「駅伝・マラソン大会」「むら生き生きまつり」等の、地域イベントの場として活用されている。また、イベントへの協力の他、外来魚駆除等の水源地域の環境保全を積極的に行い、地域社会に向けた活動にも取り組んでいる。
- ・高山ダム単独のみならず、木津川5ダム共同で広報活動を行い、木津川ダム群やその周辺の魅力等の情報発信もしている。
- ・ダム湖利用実態調査から年間利用者数を推計すると、令和元年度の年間利用者は約13万6千人で、平成26年からは増加しており、野外活動やスポーツを中心として幅広い年代に利用されており、利用者の満足度は高いものとなっている。

### <今後の方針>

- ・今後も水源地域の人口等の概要、観光施設等の水源地動態を引き続き把握していくとともに、イベント等の機会をとらえて地域におけるダムの役割等についての広報・PRを継続して実施していく。
- ・ダム湖周辺施設を活かした活動、イベント等に積極的に取り組むとともに、水源地域ビジョンの基本方針に基づき、今後も引き続き関係自治体・地元・NPOなどとともに活動を推進していく。

## 7.8 文献リスト

高山ダムの水源地域動態に係る評価のため、以下の資料を収集整理した。

表 7.8-1 「7. 水源地域動態」に使用した文献・資料リスト

No.	文献・資料名	発行者	発行年月日	備考
7-1	高山ダム工事誌	高山ダム建設所	昭和 44 年 4 月	
7-2	南山城村：京都府統計データ			
7-3	月ヶ瀬村：奈良県環境客動態調査報告書			
7-4	上野市：伊賀市統計データ提供資料			
7-5	固定資産の価格等の概要調書	総務省		
7-6	平成 27 年度高山ダム定期報告書	木津川ダム総合管理 所	平成 28 年 3 月	
7-7	平成 26 年～平成 30 年 高山ダム年次報告書	木津川ダム総合管理 所		
7-8	・『統計なら平成 26 年版』 ・伊賀市提供の観光データ	奈良県 三重県伊賀市		
7-9	河川水辺の国勢調査ダム湖利用実態調査報告書	木津川ダム総合管理 所 高山ダム管理所	令和 2 年 3 月	

表 7.8-2 「7. 水源地域動態」に使用したデータ

No.	データ名	発行者	発行年月日	備考
7-10	総務省統計局ホームページ ( <a href="https://www.stat.go.jp/data/kokusei/2015/">https://www.stat.go.jp/data/kokusei/2015/</a> ) 平成 27 年国勢調査(人口・世帯数・産業別就業者数)	総務省統計局		
7-11	国土数値情報ダウンロードサービス	国土交通省		
7-12	高山ダム管理所ホームページ	木津川ダム総合管理 所 高山ダム管理所		
7-13	高山ダム見学者数	木津川ダム総合管理 所	平成 27 年 ～令和元年	